

vol. 6

南国暮らし夢の会

会報

1999秋季号



平成11年10月15日

*会員敬称略

・表 紙	挿 絵	酒匂 愛子	
・目 次			1 頁
・会長挨拶		竹内 司	2
・特定非営利活動法人南国暮らしの会の報告		池田 徳三郎	3
・平成11年度秋季総会、例会、懇親会案内			4
・ペルトアズールを訪ねて	田中 みどり		5~6
・ギブ・ミー・ドリーム別荘滞在記 ~前号の続き~	稲延 ひさし 豁		6~8
・ハプニングだらけ!! 女性のマニラ1人旅	K. O.		9~12
・マニラ(マカティ)に住む場所を探し求め	足立 ひろ子		12~14
・スポットニュース(保険無しの入院費)	川上 雅久		14
・初めての海外旅行(とうとう行ってきました。セブ島)	大内 裕子		15~17
・二度目のフィリピン(女性の目から見たフィリピン)	大橋 敬子		18~19
・インターネットの勧め	高沢 弘晃		19~21
・ダバオで第二の人生をスタート	田口 幸秋		22~25
・ダバオ在住者からの便り	森川 忠士		25~26
・ダバオ在住者からの便り(Eメール)	田口 幸秋		26~27
・シルクロード6千キロバスの旅	山之内 晶子		28~29
・南太平洋レポート	三井田 雅俊		29~30
・役員会議事録			31~35
・フィリピン関係航空券事情			36
・秋季会報送付案内・事務局より			37

欄外 1、11年度秋季総会・例会・懇親会(出、欠)申込書

2、会員名簿(8ページ追加分、配付済み名簿に追加して下さい。)

3、その他

ご挨拶

1999年10月

「南国暮らし夢の会」会長 竹内 司

会員の皆様にはご健勝の事と存じます。お陰様でこの「南の会」も順調な発展を遂げております。

これも会員各位のご協力と役員各位のご努力のお陰と深く感謝するしだいです。

また各地に支部設立が続き、南の国を愛する人達の会合の場が新しく芽生えるのは誠に嬉しい事です。

「南の会」が発展を続ける為には絶えず風の流れが会には必要とされるのです。

ここで皆さんに慶賀のお知らせがあります。NPO（民間の非営利団体を社会的に認めようという事で、「特定非営利活動法人」）として認証されたことです。

これは平成10年12月1日に施行された新しい法律で、特定非営利活動促進法に基づき「南の会」が法人格を取得できる法律です。

会発展の為に資格取得申請を行ない、この9月30日付で東京都知事の認証を得られました。現在登記手続中です。ここにお知らせ致します。

この法人化の手続きに際し在京の役員諸氏が貢献してくれました。そして今後も苦労をお掛けすると思います。

役所との折衝や挨拶など会長が致すべき責務ですが、私の現状では出来ません。この際在京の役員諸氏の中から理事長になられる方の審議をお願いし、池田徳三郎会員を推薦して貰いました。

私は、過去唱えてきました日本人村構想に再び戻り、特定非営利活動法人南国暮らしの会を離れて、皆様のご希望を集約し具現化の努力を致したいと思います。

業者から持ち込まれた情報について、役員会では出来るだけ情報は公開しようと言う事になっています。皆さんは十分慎重に“自己責任”で取り組んで下さい。

日本人の感覚では考えられない、現地人の商慣習があります。（土地の所有権問題など）

私のNPOに対する期待は、日本の高齢化社会にフィリピンの豊富な看護人材の派遣があります。日本の高齢化による看護人不足、フィリピンの豊富な看護人材がドッキングすればお互い助け合えるのです。本会がその様な社会貢献が出来る法人に育って欲しい。これが私の願望です。

NPOの資格取得は社会的な信用が増す事にあります、この信用を土台とした事業計画があって初めて価値が生じると思います。

NPOを示唆して下された青柳会員、申請にご苦労された池田会員に感謝して挨拶とさせて頂きます。皆様もお体大切にお過ごし下さい。

“一期一会” 夢を育ててまいりましょう。

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 東京都認証のご報告 平成11年10月
「南の会」法人化推進委員長 池田 徳三郎

近年、民間の非営利団体（NPO）は、幅広い領域で、実績を積み重ねる活動を行い、その存在と重要性が広く認められるようになりました。NPOがより活発な活動ができるよう環境整備をはかるため、昨年、特定非営利活動推進法（NPO法）が平成10年12月1日から施工されました。

同法は、法の定める分野の非営利活動を行う団体に「特定非営利活動法人」という法人格を与えることにより、市民活動の健全な発展を推進することを主目的としています。

南国暮らしの会（南の会）の役員会及び総会において、同法の法人格を得るために手続きを進めることになり、平成11年6月15日東京都に申請し、同年9月30日付認証書を受理することができました。

申請に際し、竹内「南の会」会長はじめ、全ての役員、関係会員の皆様方の全面的なご協力により、スムーズに東京都の認証を得ることができました。

改めて、この場を借り、竹内会長、役員、関係会員に対し深甚なる敬意と謝意を心から表します。

法人化に至るまでの経過は、すでに会報等でご報告致しておりますが、改めて、次の通り、その概要を整理することができます。

◇南国暮らしの会（南の会）法人化について

- 1999.3. 6 第9回 「南の会」役員会審議 提案者 (青柳・長谷川)
4.30 第10回 同役員会審議 提案者 (青柳)
法人化推進委員長 池田徳三郎を決定
5. 8 臨時同役員会審議 提案者 (青柳・高沢・池田)
池田委員長より「南の会」と法人との関係、法人の組織、設立日程、定款の骨子等の
概要を説明し、平成11年度春季総会に提案することを決定。
提案説明者 (池田同委員長)
5. 8 「南の会」総会に提案 承認される
法人推進化小委員会（酒匂・高沢・池田）を設立。 法人設立者（社員）の推薦、了解。
5.15 法人化推進委員会・設立者会・「南の会」役員会を開催
・名称「特定非営利活動法人 南国暮らしの会」と決定
・同 設立趣意書の承認
・同 定款の承認
・同 設立当初の事業年度・財産目録の承認。
・同 事業計画書・会計収支予算書の決定
・同 役員の選任
・同 その他 確認・承認事項
6.15 東京都生活文化局に関係書類を提出 受理される
9.11 「南の会」役員会開催 法人の組織・担当者の分掌・委員会・
その他、臨時総会に関し審議
9.30 特定非営利活動法人南国暮らしの会 東京都認証
10.14 までに法人設立登記予定
10.20 前後に設立登記完了の届出（東京都）予定

以上の業務を終了いたしましたと、「南の会」法人化推進委員会の業務は、終わることになります。 この度の東京都の認証は、竹内会長、役員諸氏、関係会員のご支援ご協力の賜であることを感謝し、「南の会」の会員の皆様に謹んでご報告申し上げます。 以上

「南の会」平成11年秋季総会と懇親会案内

平成11年10月10日

事務局 酒匂 記

この度「南国暮らし夢の会」の『特定非営利法人 南国暮らしの会』の認証にあたり臨時総会を兼ねた例会を開催致します。総会終了後に懇親会を催したいと存じます。万障繰り合わせの上、ご参加をお願いします。

I. 総会及び例会

- ・日時；H11年11月6日 午後1時～午後5時まで。（12時30分開場）
- ・場所；東京都立産業貿易会館、地下1階（JR浜松町駅北口下車、徒歩約5分【駐車場はなし】）
住所；〒105-0022 東京都港区海岸1-7-8 ☎ 03-3434-4241
- ・予定会費；¥1,000-（会場費、お茶） *会費は会場にて頂きます。

1、例会（講演及び情報交換会） 11月6日 Pm1:00～Pm3:00. 予定

- (1)会員の情報公開（発言希望者は本書の通信欄に演題を記入し、原稿は4月28日までに事務局へ送って下さい。） *希望者が多い場合は発言者を制限する事をお許し下さい。しかし提出された情報は皆様にコピーして配布します。
- (2)講演：最近のフィリピン事情（フィリピン国憲法改正の推移等）、講師；フィリピン大使館チーフ、横山様
- (3)竹内会長のフィリピン情報
- (4)質疑応答（質問がありましたら出来るだけ申込書にご記入下さい。）
- (5)マニラ・プエルトアズール体験ツアーについて
- (6)マレーシアツアーについて
- (7)フィリピンの現在（デジカメ撮影のメディアの映写《プロジェクターによる》）説明、休憩時間にも連続映写。

2、総会予定議題 11月6日 Pm3:30～Pm5:00. 予定

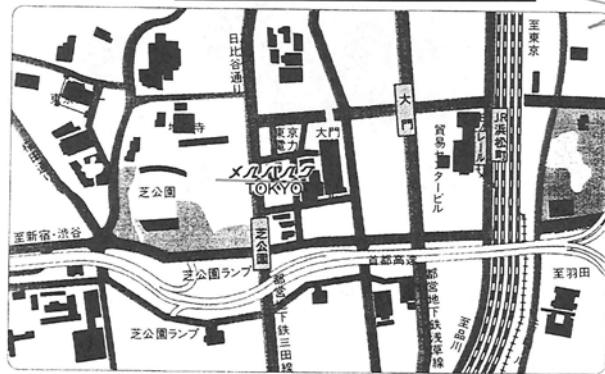
- (1)会長挨拶
- (2)特定非営利活動法人「南国暮らしの会」について
- (3)特定非営利活動法人定款説明
- (4)「南国暮らし夢の会」を特定非営利活動法人「南国暮らしの会」に吸収合併提案
- (5)役員選出
- (6)役員交代式
- (7)特定非営利活動法人「南国暮らしの会」理事長挨拶

II. 懇親会 *店名；メルパルク・東京（郵便貯金会館）1F レストラン

- (1)場所；〒105-0011 港区芝公園2-5-20 ☎ 03-3433-7211 （総会会場から徒歩15分）
- (2)日時；11月6日 Pm5:45～Pm8:00. 予定
- (3)予定会費；¥4,000-（飲食費） *会費は総会会場にて頂きます。

*総会・例会、懇親会の出・欠の申込書は10月29日必着にてお願いします。

東京都立産業貿易センター案内図



メルパルク・東京（郵便貯金会館）案内図



JR・モノレール浜松町駅下車（北口出口）徒歩8分。都営地下鉄三田線芝公園駅下車（A3出口）徒歩2分。都営地下鉄浅草線大門駅下車（A3出口）徒歩4分。

4 -

- 東京臨海新交通臨海線 竹芝駅から100m徒歩2分
- JR浜松駅から350m徒歩5分
- 都営地下鉄大門駅から500m徒歩8分

フィリピン・ペルトアズールを訪ねて

平成11年9月

会員No.73 東京都在住 田中 みどり

去る5月中旬、懸案だったフィリピンのペルトアズールに、竹内御夫妻をお訪ねすることが出来ました。

私はリウマチ患者で数年来、療養生活を続けているものです。手足の関節にダメージを受けながら痛みと闘う毎日でしたが、幸いにここ一年程小康を得て、この機会にどこかへ転地療養がてら旅行してみたい、と思う様になっていました。そんな折竹内様のお呼び掛けがあることを知り、丁度私が希望する暖かい国で5時間以内で行ける近い外国というニーズにぴったりの条件が嬉しくて、さっそく次男の嫁に同道を頼みました。

今はステッキに頼る身なので旅行会社の助言もあって、成田とマニラ空港では車椅子を手配して貰いました。

出入国時の長い行列の中で、苦労するという事もなく、快適にスムーズに通過出来たことは大変有難い事でした。

4時間のフライトはさほどの苦痛もなく、マニラ空港に着きました。竹内御夫妻のお迎えを受けて、さっそく車はメトロマニラへと走りました。車窓から市内のあれこれのご説明をして頂き、通貨の交換をしたり、ショッピングセンターに連れて行ってもらったり、人々の雑踏の中で、南国の地に第一歩をしたことを実感しておりました。夕暮れ近いマニラ市では、ご夫妻のご厚意による夕食を、日本料理店で頂くという機会にも恵まれました。

ペルトアズールへの道は、途中混雑もあって2時間前後かかったかも知れません。竹内邸への到着は夜の闇の中でした。

翌朝、目覚めて驚きました。想像以上に素晴らしい光景が目にに入ったからです。庭まわりの木々の葉の鮮やかさ、色とりどりの花の美しさ、南国の丈高い木立ちに囲まれて、さらに隣接のゴルフ場に広がるグリーンの芝生、時折、マニラ湾からの風が樹々の葉を揺らしながらやってくる中で、朝食を楽しんでいました。バンブー作りのベランダに、オウムや九官鳥達がご気嫌よくお喋りをしていましたし、毎日が大変気分のよい環境の中でお心尽くしの食事をとりながら、御夫妻との会話が続きます。

また自家製の薬用植物「ウコン」のすり下ろしたものとヤクルトを混合して飲ませて頂いたものは、何かしら体に大変よい影響があったのではないかと思っています。それに山盛りのマンゴー、ジャックフルーツ、名も知らぬ果物等、どれも私の好物ばかり、遠慮なく食べさせて頂きました。

こんなにも開放感に溢れて、いつしか体の痛みも遠のいてしまいました。本当に、心身共に癒されているのだなー、と実感いたしました。

次男の嫁はフリーカメラマンという職業柄、フィリピンの風物と人々との触れ合いを求めて、初めての土地ながら、バギオを目指して一人旅立って行きました。長時間、バスを乗り継ぎながらの旅は車中の人々の親切な態度に、引き締めていた気持ちがほぐれて思わず、ホッとする思いであったとか、やはりフィリピンの一般民衆は心優しい人達なのだと確信した様です。私はこの間に竹内夫人のご案内で観光地タガイタイに行って参りました。この国ならではのダイナミックな光景を楽しむ事が出来ました。

この度の体験スティは竹内邸を主に、ローズプリンセスホームに1泊、帰国時の都合から小松崎様宅に2泊お世話になりました。



竹内邸裏庭で竹内夫人とメイドさんと嫁と私



馬車に乗りリサール公園前を散策（嫁の構図）

それでマニラ市内見物をする事が出来ました。リサール公園の前からポニーの馬車に乗り、ポカポカと往く時の快い風は、連日の暑さも忘れて散策を楽しむことが出来ました。マニラホテルでの午後のティータイムも幸せなひとときでした。

帰国時の体調の良さも半月程で、フィリピン効果も消えて終いましたけれど、6月の梅雨入りの東京ではそれも仕方ありません。

今、思い出のアルバムをめくり、静かなマニラ湾を真っ赤に染めながら沈んでゆく大きな夕陽を見送った岬の上に立つ私達、それから竹内夫人ご丹精の「月下美人」が今夜開きますと教えていただき、皆で見事な開化を待っていた夜、あれこれと楽しかった事を思い出しております。

竹内御夫妻楽しい旅を有り難う御座いました。

嫁と、「又きっとこの国に帰って来る」とマニラホテルで語り合った事が、実現するのを楽しみにしております。



マニラ日前ボーキと姿勢良くポーズ(嫁の構図)

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

『ギブ・ミー・ドリーム另刊在潜石記』(その2)

平成11年10月

会員No.128 福岡県在住 稲垣正 審谷

5/13(木) 晴 — 前号よりの続き —

支部長、恵子ちゃん、私と3人、清新の気を胸に充溢させて散歩としゃれこむ。

崖道を下れば渚だ。サクサクと踏みしめる浜砂も快い。鉄分混じりか、全体に色黒い。珊瑚の風化石か、所狭しと渚を埋めている。

昨日、今日の飛行機から降りただけの3人の仲が、まるでキョウダイ同志のよう、ウマが合うと云う奴か、俺の天衣無縫、我慢放題を、出来た二人が、暗黙に受け入れて呉れてるからだと思う。

崖を登って、良く刈り込まれたゴルフ場を散策する。彼方に、デンと構えた白亜の殿堂ならぬ、ペンション、リゾートハウス、ジャーマンハウスの建装は素晴らしいの一語。

一瞬 治外法権のエリートと錯覚する。「犬の外這入る可からず」上海租界を想い出す。戦前の昔(日本の国が最も充溢し、凄い希望を孕まっていた頃の話)

7時朝食で長旅はまずい。時計の針を気に掛けて廻れ右をする。新米の逗留者、それで脚が早くなる。

食堂は棧敷だ。頭上には彩りのインコか、オウムか、風情が良い。廻り一面花屋敷。下にはプールが、デンと水をたたえている。朝食からビール付き、サンミゲイルと申す。

フィリピン独占財閥製造元。アルコールの弱い私には打ってつけ、ホップの苦味を嫌う自分には手頃なり。おまけに安い。値段を聞くのを止めた。育ちが解る。朝食は日本食。総菜も、竹内夫人指揮のブレック・ファーストである。—感激—。オーナーが昼食は外で摂ろうとおっしゃる。それが良いと全員一致。ところがだ、やゝあって突然スコールがやって来た。空がかき曇ったと思ったら、ドシャ降り。タライをぶち撒けたよう。実に堂々と男性的である。それも僅か二十分。それで外食はオジャンと相成った。雨が止んだ空は元の青空。

よし!と、その時間をカミさんと過ごすべく浜に出た。珊瑚礁の風化珍化石拾いが其の目的。

珍気に舞い込んだ穴石、亀の紋様風な石、形容に困る石、兎に角、まだら模様が面白い。2人仲良くせっせと探す。私は大きめ、カミさんはままごと石。若干大き目、握り拳程。

宝を見付けた小児の顔。途端に彼女が爆発した。良く怒るのだ。その時も。「どうやつて持つて帰るん。空港

で取り上げられるの解つとろうもん!!」「馬鹿云うな!! 誰がコゲンもん取り上げるか!」倍増の声で反発した。

別荘に戻って、待望のプールに浸る。それも5月の初旬。そして青カン天然でだ。

地元の『イトマン』7千円、吾が口座から引く。コースを探し、ボデーすり合わせの難渋。それが日本のプールの現状。——ここはタダ。——

此の時とばかり縦横無尽に泳ぎまくった。疲れたら、ガーデン備え付けのチェアで腰を落ちつける。そこで一ひねり(一句)……。

*「良くぞまあ、5月の空が、ここ真夏」 *「火炎樹炎えて、別荘ガーデン、オラが夏」

夕食後は、別荘備え付けビリヤード。九州勢は総シロウト。先ずオーナーにその手ほどき。ポールの握り方、玉の突き方、腰構え。眼の遣り場とその方向。やらずぶったぐりで、何とかならん。と恐れ多くもトーナメントと相成った。

特に、その執着度旺盛は、九州支部長。電気工事会社社長は、ゴルフ好きだから、その練度は早い。菓子会社経理係りは、その持ち前の繊細が物を云う。上達が早い。御婦人の恵子ちゃんは、積極性と感度良好で覚え込みが早い。一番下手くそは、馬齢(自分の年令を謙遜して言う)を重ねた、他稱(他人が稱す)曰く酋長の此の俺。能書だけは3人前「此のゲームは奥が深いネ、ゴルフと一緒に、散った玉を瞬間捕らえ、即、判断し、不可能を可能とする腕さばきやネ」カッコウ付けてばやいたものだ。

あっと云う間に夜は更けた。他人の家、夜更かしは禁物、秩序正しい生活。規則は大人のモットウ。0時過ぎたところで、夫々持ち部屋へ解散した。「ああ、面白かった。これからどんどんやろうネ。」これは支部長の弁。この夜の2ベット、12時10分の夫婦の会話は。

「彼女別嬪さんやが、何をやらしても上手ネ、第一、器用。何でもしてやろうと、やる気満々、それがいいんじゃネ」と、ダンナ。「そう若いケ。あたしとは十何ぼ違うとやけ」と素っ気無い。会話はずまない。無理も無い。スポーツのスの字も出来ぬ彼女の事。興味の全く境外にある。それでも敢えて俺は云った。「一緒にフィリピンくだりまで来たのじゃないか、凡て行動は共にしにやきやー」

「奥さんが、これを読めって、マスゾエさんの母親看病記を書いた本。八幡高校創立以来の秀才、東大に行つた人、今度、都知事に出る人かなア」

そうか、彼女、読書三昧。これはリゾート地に来た裕福な人々の過ごし方で、彼女もそのムードにドップリ、立派だ。日頃、家庭では見かけないポーズ。非日常。プエルト・アズールの夜は静かに更けました。

5/14(金)快晴

6時11分起床。一人静かに階段を降り、リビングを通る。会長さん、インターネットに余念が無い。ご挨拶もそこそこに、裏木戸をソッと開けて外に出る。何時もの散策。ゴルフ場の芝生を踏んで磯に出る。根が石好き、岩好き、大樹好き、岩を見ると昇りたくなる。特に磯辺の岩は海水に洗われ、変化に富んでいる。その風情がいい。適当な位置を定めてド座り、マニラ湾を望む。遙か水平線上に漁船が数隻、海は広だ。天は何処迄も高く、青く澄み雲一つ無い。景色だけでも千金もの。

岩下は小波の乱舞、彩りの魚群、目を凝らしたが見損なった。腕を広げ深呼吸をする。オゾンは胸にみなぎった。200m先、抛物状の海岸の岬に岩溜りが在る。諸を歩いて其處をめがける。足場の悪さも何のその、岩棚をツッカケで踏み越えて行く。砂場に降りて、直ぐ傍の獸道に似た杣道を登る。上はゴルフ場。

芝生を挟んで、向いに木立の間に殿堂が見え隠れする。

朝が早いか、ペンションは森閑と佇む。何時もの好奇心と野次馬根性は消え失せていない。段差の石踏みを上り降りして窓辺に近付く、一瞬、俺 泥棒行為、プライベート侵害、そんな思いが脳天をつら抜く。

そこはそこ、住人と面付き合わせれば、にっこりと笑って「グッドモーニング!!」後は英語を知らぬ俺の事、持前のゼスチャーで乗り切りア良いと、ポイントは、竹内会長宅居候者「散歩に来ただんだべえ」と云えば良い。



プエルト・アズールの海岸線(高沢氏撮影)

朝食後、8時40分、「ナイクの朝市に出掛けよう」と会長さん。お抱えの2台の車に乗り込んで行く。煙草2本を吸った距離に市場が在る。物凄い人出と、車のラッシュ。車の駐車はどうするのか？心配をよそに、そこは馴れたお抱えさん、立ち並んだ車の隙に絶妙に突っ込んでいく。居並ぶ少年。一人、車のボディを叩く。

—《俺の縄張り、金をだせ》— という意だと直ぐ解る。しつこいゼスチャー。その目玉がキツい。どうするか？心配を他所に、お抱え運転手は完全な無視。

此処はマニラの一郊外、日常茶飯事の出来事でした。

其の猥雑は想像を越える。正にイベント、お祭り騒ぎ敷地は広大、大原野に忽然と湧いた大市場、日々 屋根を乗せた小屋掛けに、縁台状に載せた生鮮食料の数々。正に胃袋の集散地だ。

ぎっしり所狭しと並んだ出店の数の夥 しさ、魚箱に無造作に投げ込まれた不明の魚、色艶形と多種多様。それに群がる蠅の乱舞とその生臭い匂い。その強烈さには千軍万馬の兵士でも退散するしかない。鼻の悪い俺とした事がそれでもシッポを巻く。

背摺り合せやっと通れる狭い通路、人混みに迷子に成ったらお終いと懸命にファミリーの後を行く。天井にぶら下がっている異形の物はトンカビーフか？ はた又、別物か？ その仰々しさには一瞬ギョッ！ とする。ここでも蠅が縦横無尽に飛び交っている。

縁台が低い所は果物王国エリア、いや、地べたに直接ゴザ敷きの上。それは、習い覚えたマンゴウの山。40代のオバさんが盛んに皮むき中、その手際のよさとスピードはプロのもの、じろじろと吾々ファミリーを観察し何か喋っているが分からない。支部長が横から〇〇語だと云ったが忘れた。「ありやア、お米が有らア」と俺が素頓狂な声を揚げる。有るのが当たり前ここは胃袋だ。

でも、区切られた四つの升に長めの粒が盛られている。たったそれだけの事に感動する俺、ゆるぎない生活の旺盛さと、貪欲な迄の食欲が想い浮かぶ。温暖な気候と数毛作（温暖なので何回でも稻の作付が出来る）。此処はスーパー、食料オンリーだけではない。

電化製品、日用雑貨、普段着用の洋服類 etc……。何か変ったシューズは無いかと目を凝らしたが、珍品は見当たらぬ。何処をどう通ったか分からぬ間に、建屋の外に出た。昔懐かしい井戸ポンプ、どこ製か分からぬが触ってみたい。それが嬉しい。何度もやる。ファミリー一行が交替で同じ動作。

平和な一時でした。

今回の食料買い出し部隊長はオーナー御夫婦、中隊長級は奥方二人と支部長さん、その他は申し訳無いが兎のフン（ご容赦を）只只、ぞろぞろついて行くだけでした。その日の昼食、卓上に登ったバラエティーメニュー。

エビ、カニ、イカ、豚肉、色々な野菜。オーナー夫人指揮のもと、カミさんの久方ぶりの腕振り、キッチンでは中学生程のお女中3人の中に混じり真剣にやって居りました。

談論風発（さかんに議論を行う）、楽しい昼の大宴会。

「南の島の夢の会」—ここに九州支部あり、結束深し—

ひるひなか 星日中のサンミゲイルのアルコールが、じんわり体中に行き渡って参りましたので……また……。

～（未完）次回に続く～



ナイクの朝市に並ぶ魚（竹内氏構図）



ナイクの朝市に並ぶ豚の頭（高沢氏撮影）

ハプニングだらけ！！女性のマニラ一人旅

平成11年9月

会員 K. O

自己紹介

平成11年6月・・読売新聞で南の会を知り入会

平成11年7月・・大阪で開かれた「南の会」の情報交換会に恐る恐る参加

平成11年9月・・取り敢えずフィリピンに行って見ようと一人旅を実行

* 9月11日（土曜日）1日目

タイ航空カウンターで早めに手続きをする。一人旅なので出来るだけ荷物は少なくしたつもりでいたが、私の荷物は機内に持ち込めないと、女性職員にあっさり言われてしまった。それは困ると抵抗したが認めてもらはず、仕方なく口金を青い紐で結んだだけの無防備な荷物をカウンターに預けた。不安が頭をよぎる。運を天に任せて身軽になった私は関西空港を飛び立った。

私の隣には、50才位の耳にピアスをした日本人のおじさんが座っていた。フィリピンの事を全然勉強しなかった私は早速「地球の歩き方」案内本を開いて読み始めた。タガログ語入門というページで簡単な挨拶等をメモしていたとき、そのピアスおじさんが私に声を掛けてきた。「あなたフィリピンは初めて？、1人でマニラに行くの？、誰か迎えが来るの？」一人旅の私が初めてマニラの空港に降りることを知ったおじさんは、親切にあれこれアドバイスをしてくれた。そして自分はケソン市の近くに住んでるから何かあったら、電話をするようにと電話番号を教えて下さった。《おじさん本当に有り難う！！》

青い空、青い海、眼下に見えた美しい島『やっぱり、昼間の飛行はいいなア』等と思っている内に、だんだん雲が厚くなり全く何も見えない状態になった。マニラ上空に来たとき、着陸の順番待ちでこのまま待機するとアナウンスが入った。飛行機は1時間上空を旋回し、悪天候の中をやっと無事に着陸した。到着したマニラ空港はまるで湖の中に建物があるようだった。信じられないままトイレに行く。トイレは停電していて暗かった。ちょっと心細くなる。手洗いの水は蛇口を全開にしてもあまり出てこない。暗い中で自分のハンカチで手拭いていると、掃除のおばさんが洗面台の隅に置いていた、ペーパーで拭くよう教えてくれた。

荷物を取りにターンテーブルに行く、荷物がだんだん少くなり、その内にとうとうコンベアが止まった。

『まさか嘘でしょう！！』私は自分の荷物を探してターンテーブルを見て廻った。

『私の荷物がない！！』他人事に思っていた事態が、今回はわが身にふりかかってきたのだ。

荷物が数個残っていた、が その中に私の物と同じような黒いバッグも一つ残っていた。誰かが間違えて持つて行ったのだろうか？？？。

飛行場には会長が迎えに来て下さる事になっていた。取り敢えず待ち合わせの場所へ行く。多くの人々で混雑していたが、無事にお会いする事ができた。

私の荷物が無くなった事を話すと、会長は遺失物の置かれている部屋のことを教えて下さる。出口の係官と交渉して下さるが、そこには私一人でしか行けないとの事、何度もチェックを受けながら、遺失物置き場に行く事ができた。

3人の係員が入れ変わって荷物を探してくれた。私も捜したがそこには私の荷物は見当らなかった。

私が飛行機の中で書いたメモを見ながら、タガログ語で有り難う御座います「マラミンサラマット」とたどたどしく言うと、彼らは笑顔でこたえてくれた。

次に4Fのタイ航空のオフィスへ行くよう指示をされ、やっと辿り着くと職員が出払うところで、結局何も出来ずに会長の待つ所へ戻り、雨の中 空港まで奥様も来て下さっていた。

大阪会場で会長ご夫妻の顔を一度拝見させて頂いているので、私の方は厚かましくも親戚の家に泊まりに来たような気持ちでいた。

安心して車に乗り込む、運転手のジョーさんを紹介してもらう。先程まで目の前の車も見えない位雨が降って

いたとのこと。道は車が大渋滞していた。ついこの間、日本のテレビで集中豪雨の様子を映していたがまさにその通り。着いたばかりのマニラ市内は、本当に目の前を川のように水が流れていた。よくぞこれで車が動くものだと感心する。「大勢の子供たちが小銭を稼ぐために車の後押しをするの」と目の前で繰り広げられる様子を奥様が説明して下さる。

私はただ呆気に取られて見ているだけだった。それにしても車の渋滞は凄かった。会長御夫妻もこんなにひどいのは初めてとおっしゃった。

会長宅までは飛行機に乗った時間より、はるかに長い時間が必要だった。トイレ休憩を2度とろうとしたが凄い人で断念する。会長宅近くになってフィリピン料理をご馳走になる。大阪会場でフィリピンのビールは美味しいと聞いていたので早速頂くことにした。料理はと言うと、私が今までに食べた事のない味がする。イカはぶりぶりして美味しかったが、調味料のせいか独特の香りがしばらく口の中に残っていた。

やっと会長宅に到着、メイドさんが出迎えてくれた。夜も雨がザーと降ったり止んだりしている様子。思いがけず奥様の心遣いで用意されてあった、冷たく冷やされているフィリピンのお白湯を頂く。全然薬臭くなくてとても美味しい。

9/12(日) 2日目

翌日朝食に日本食を頂く。私が南の会に初めて電話をかけた時、寺前さんが「会長さんの所に泊めてもらう時は美味しいお米を持って行ったらいい。」とアドバイスして下さった事が頭を掠める。食後奥様に庭を案内していただき、テラスでゆっくりお話を聞く。会長さんはこれから私の予定をあれこれ考えて下さっている。夜はとても静か。時折 古い水道栓をきゅっとひねった時のような音で鳥（？）が鳴いている。一人になってからは、無くなった荷物の中に薬を入れていたのが気になる。普段からすぐ薬に頼る私は今回の旅行にも抗生物質、鎮痛剤、便秘の薬、傷薬、虫刺されの薬等自分に用意できる限りの薬を準備してバッグの中に入れておいた。

すっかり気弱になった私はついに「今回のフィリピン旅行は無理をせずに早めに帰国しよう」と決心する。

9/13(月) 3日目

会長さんが私の為に考えてくださった予定を変えて、ジョーさんの運転するマカティに向かう。高級住宅地を抜け、南国の田園風景、人々の生活する家並み、活気にあふれる市場等、次々に自分の目に入ってくる風景を私は眺めていた。そしてローズプリンセスホームを見学させて頂いた。

国が異なるれば、そこには異なる現実がある事を知る。会長ご夫妻が私をここまで連れて来て下さった事に感謝する。次いでマニラ空港に立ち寄り私の荷物が無い事を再確認した後、会長さんは市内のタイ航空で私の帰りの航空券の変更をして下さった。

無事に手配も済ませ、次は会長さんが日本の会員に向けて書かれた手紙を郵便局で出された。地元で手紙を出すと何時日本に着くか分からないとの事で、何時もわざわざ時間を掛けてここまで手紙を出しに来ているという。私も頂いた事のある会長さんからの手紙には、常に会員の為に動いて下さっている努力がある事を知る。両替所で初めて円をペソに交換し、会長ご夫妻は我儘な私を無事にホテルまで送り届けて下さった。夜は再び雨が降ったり止んだり。

「明日はお土産を買おう」「傘も買わなきゃ、雨が降ると動けないしなァー」等あれこれ考える。

9/14(火) 4日目

翌日、朝の9時30分 何とか雨は止んでいた。1チャンネルしか映っていないテレビをズーと続けていたが、一度だけ天気に関する画面を目にする事が出来た。フィリピンのはるか上方に日本があった。そこに台風らしい雲の様子が映りだされていた。明日は無事日本に帰れるだろうか？。雨が止んでいる今のうちにショッピングセンターへかけ込もうとホテルを出る。未だ出勤時間帯でノロノロ走る車の中を人々は反対側へするりすると、上手に身を交わしながら渡って行く。

私はマカティのグロリエッタを目指したつもりだったが、反対側のランドマークデパートに出た。中に入って

こここのデパートに来て良かったと思った。特に欲しいものがなかった私がペソに変えたお金は3万円。ホテル代を差し引くと2万円分のペソしか残っていない。ここでなら奥様がおっしゃっていた様に、きっとあれこれ買えると思った。

私の姿はジーパンにサンダル履きである。地下に降りて何か食べる事にした。地元の料理をもう少し食べてみたいと思ったが、辛抱してマクドナルドでハンバーグを注文する。腹ごしらえも済んで店内を歩いてみる。食料品売り場には新鮮で見た事もない野菜、果物、魚、肉が綺麗に並べられており料理好きな人なら大喜びするだろうと思った。店員も親切にしてくれる。私は楽しくショッピングして歩き回った。

9／15（水）5日目

朝 ホテルで清算し、タクシーを用意してもらった。空港まで150ペソで行くと言う。サングラスをしている運転手の顔を見て「ちょっとヤバそう」と思ったが仕方ない。取り敢えず200ペソを支払う。（後で50ペソ返してもらうぞ!!）タクシーは渋滞する中をしばらく進むが、どうもジョーさんに乗せてもらった風景と違う所をノロノロ走り続ける。おまけにエアコンの調子が良くない様子、タクシーの運転手がしきりに送風口に手をかざしている。とうとう彼がエアコンの調子が悪いから他のタクシーに乗りかえるようにと言い出した。

「問題ないワ」と言うと、又タクシーは走り出した。途中車の中で彼の写真を一枚撮らせてもらう。いよいよエアコンの調子が悪くなってきた。信号で車が止まった時、彼は私がタクシーに乗り込む時先に渡した200ペソを返してきた。しかし少しノロノロ走った後、彼がすまなさそうな表情で（この時この人は大丈夫だと思った）50ペソくれと言う。私は気の毒になって50ペソを支払った。

「仕方がないここまでかな？」と思った。「じやあ今私は何処に居るの？」と地図を見せて彼に聞くと、何と彼は「分からない」と答えた。「あらら……」と思っていると、丁度隣に停止したタクシーの運転手に聞いている。それでやっと空港が何処にあるか分かったらしい。「大丈夫だから飛行場へ行く」と言ってくれる。やれやれ……車は今来た方へ再びノロノロ引き返して走り始めた。彼が手を合わせて「ごめん」と言ってくれる。（帰りのタイ航空スチュワーデスさんが手を合わせるのを見て、ああ彼はタイの人だったのかと後で気がついた。）二人で汗を拭き拭き空港へ向かう。彼は何度も暑いと愚痴をこぼしている。簡単な英語で話しを交わす。私は英語が全然ダメなので、身振り手振りで 大雨の日にマニラに到着して車が大渋滞して、泊まる所まですごい時間が掛かったと話した。

彼が「マニラは好きか？」と聞き返してきた。写真を送るから住所を書いてくれと紙を渡すと、「安全の為か」とニガ笑いしながらも渋々書いてくれた。道路は相変わらず混んでいる、「一日中こうなのだろうか」と思いながら他の車を観察する。排気ガスで窓は開けていられない。バスは乗降用のドアを開けたままで走っている。運転はちょっと荒っぽい。日差しをさえぎる為か、黒っぽく煤けた様な窓にしているのもある。日本の中古バスも走っている。車が停止するとすぐ物売りの人がやってくる。お水、お菓子、タバコ、果物、大人も小人もやってくる。彼はその後次々に4人の物売りおじさんに飛行場への道を聞きながら走った。慎重に走っているのが分かる。

一瞬、高架になって車が走る道路の端で、生活している女性と子供を見掛けた。私は自分の目を疑った。そこには日本の生活とあまりにもかけ離れた生活があった。

少し走って、やっと「空港」と書かれてある標識が目に入る。エアコンの調子は相変わらず悪く、私たちは少し窓を開けていた。車が止まった時、何かを買ってくれと子供がやって来る、何か買おうとしたが朝チップに小銭を全部渡してしまったので持ち合わせがなかった。彼がガム代を立て替えて支払う。彼が窓を閉める。私も閉める。彼の表情がだんだん固くなりイライラしているのが分かる。私が「ハイ200ペソ」といって彼に渡すと、とたんに彼が嬉しそうに微笑んだ。

もうすぐ飛行場だ。やれやれと地図をみるとホテルから飛行場まで6Km程だが2時間掛かっている。飛行場入り口近くになって彼が「エキストラ…」という。「エキストラって何？」と私、「ん？もうちよとお金を出してよってことか」と理解したので「だめ～!!」と言い返すと、彼は悪戯っぽく笑っていた。最後にもう一枚写真を撮らせてもらって、やっと私は空港に足を下ろす事が出来た。

会長さんから指示された通りに、不明の荷物が届けられていないか、再び4Fのタイ航空のオフィスに確認に行く。親切してくれたジャクリンさんが、奥から出て来てやはり荷物は無いとの事。今日、日本に帰ると彼女に告げて、いよいよ出国の手続きを始めた。私の荷物は小さなリュックサックと肩にかけるショルダーバッグのみ、中にはお土産に買ったTシャツと熱帯魚のキーホルダー等の安価な物ばかり。550ペソの出国税を払い、土産物屋さんで残ったお金を全部出し、チョコレートを買う。レジのお姉さんが7個買えると教えてくれた。

残り10ペソ、もうコーヒーも飲めない。絵葉書が一枚10ペソ、「やったア」3万円全部使い切った。

気分最高。搭乗ゲートへ行く途中、再び荷物の検査、それを済ませて前に進むと、男性3人女性1人の係官がいた。荷物を荷物台の上に置くよう指示される。女性係官が私に小さな四角い台の上に乗るように言う。しっかりしたボディチェックを受けた。一人旅の私の顔を見て3人の男性係官が「貴方は韓国の人か?」と訪ねた。そう言えば買い物をしていた時も「台湾の人?」とお店の人に聞かれた。

旅とはトラブルが付きもの、色々なハプニングがあったが、お陰で私は余り恐い目にも合わず、無事に帰りの飛行機に乗り込む事が出来た。

飛行機が関西空港に着陸した軽いショックを感じながら、私のマニラ滞在は短い夢の中の出来事の様に思えてならなかった。

帰国した日本は、相変わらず人々がせっかちに動いており、職員はきっちり丁寧に仕事をこなしていた。
近づく神戸の夜景を見ながら、私は今の若い人にどんどん色々な国へ行って、自分の目で多くの事を見てきて欲しいと願わずにいられなかった。
また明日から、夢を膨らまして生きていこう。



マニラ（マカティ）に住む場所を探し求め

平成11年9月

会員No.81 愛知県在住 足立 ひろ子

本当は、私は竹内会長宅のようにリゾートにのんびり暮らしたいのですが、子供の学校の関係上、マニラ中心部マカティ付近の生活環境について調べてみました。1月、3月と5月に夫々一週間程度づつ、竹内会長からご紹介を頂きました日本人宅に泊めて頂き、何人かの日本人在住者から貴重なアドバイスを頂き、尚色々な所へ連れて行って頂きました。その中から少しでも会員の皆様のお役に立てればと思い、中途半端な情報ではあります
が独断と偏見で書かせていただきます。

マニラの生活情報を知りたい方へ

マニラ日本人学校への入学について、見学を兼ねて行き、先生から色々お話を聞いた後、プラプラと校庭を歩いていると、日本人学校の児童のお母さんからお話を聞く機会に恵まれました。

そこで日刊マニラ新聞社から出ている「マニラ生活電話帳」という日本人向け広告のかたまりのような本があることを知りました。「ニッコーマニラ・ホテルで買った」と言われたので、早速買いに行きました。「マニラ生活電話帳」と言っても通じなくやっとホテルのフロントの日本人から「ジャパニーズダイレクトリー」とフロント横の売店で言って下さいと教えてもらい、買う事が出来ました。

内容は、日本食材店から宅配日本食弁当、不動産屋、住まいの便利屋など日常のことから「ビジネスマン・長期滞在者のためのビザ基礎知識」「日比国際結婚の手引き」などいろいろなことが書いてあり、マニラに住むにあっては、便利な本だと思います。

もしマニラの中心部マカティ付近に住むことになったら、マニラ日本人会にチョクチョク顔を出してみると
いと思います。廊下の掲示板にいろいろな情報が貼ってありますし、いろいろなサークルの案内や会報がおいて
あります。

私は、在比の日本人女性が中心となっている「フィリピンに学ぶ会」フィリピカの新入オリエンテーションに

参加させて頂きました。毎年5月に4回ほどフィリピンに新しく赴任された駐在員の奥様対象の、フィリピンで暮らす上で必要な情報講座のようなもので、大変参考になると思いながらお話を伺いました。私は一人で参加させて頂ましたが、とても会員の方々は親切でいい感じがしました。フィリピカにも色々なサークルがあるので会員になれば、お友達もいっぱい出来ると思います。

そこで感じた事は日本人と同じような生活を望むなら、日本食を食べ日本人のお友達をいっぱい作り、安全で快適な住居に住み、その上家事はメイドに任せて、何時もドライバー付きの車で、ドライバーがドアを開け雨が降ればドライバーやメイドが傘をさしてくれる。そして週一回はマカティの高級ホテルでお食事すれば良いと思います。どんな料金の高いディナーでも（私は名古屋に住んでいるので名古屋ヒルトンホテルか名古屋東急ホテルしか知りません）名古屋プライスと比較し1／2から1／3位ではないかと思います。安い得した気分を味わう事が出来ます。また私は日本人のお友達より外国人のお友達がいいわとなれば、アメリカ人もイギリス人もフランス人もいっぱい居ます。

誰とも話したくなく、孤独に浸りたい人は一人でも生きていけます。但し以上のこととは、日本で生活する以上に生活費がかかります。人間は衣・食・住が必要ですが、まずマニラ中心部で高級ホテルやデパートに近くて生活に便利、治安が良く快適となれば、住居は家賃月30万円はみておいた方が良いと思います。大体、日本の駐在員の家族は、その位のコンドミニアムかビレッジに住んでいます。（勿論家賃は会社が出してくれるので生活出来るのだと思いますが。）

それからどの地域が幾ら位の家賃かとか、コンドミニアムは幾ら位とかの情報は、これもニッコーマニラ・ホテルで売っていた「BUY & SELL」という新聞を買うと良いでしょう。一部20ペソでした。

三行広告ばかりですが、住居から車、パソコン、家電、旅行までいろいろな広告が出ています。値段もしっかり書いてありますので大体の相場が分かると思います。

先の「マニラ生活電話帳」は日本人が対象なので、たぶん日本人プライスだと思いますが「BUY & SELL」は一般向けなので色々値段を比べて見るのも面白いと思います。しかし「BUY & SELL」は全部英語で書いてあるのである程度英語ができると理解出来ないし、電話で問い合わせてもタガログ語か英語での会話が出来ないと無理でしょう。つまりタガログ語か英語が出来ないと高い物を買わされると言う事でしょうか！？

水について

例会の度に竹内会長は「まず水が出るかどうか気を付けて下さい」と言われます。マニラに住んでいる人なら誰でも先ず「水はない」と答えるでしょう。

私はパラニャークにあるお宅に泊めて頂きましたが、その家も電気で井戸から水をタンクに汲み上げていました。その水圧の低さと量の少なさと言ったら、日本人には想像出来ない事です。

シャワーを使ってもシャワーにならず、チョロチョロと出てくる程度です。だからよそのお宅でトイレに入ると、大抵トイレとシャワーが一緒になっていて、シャワーの下に日本でいう大きなポリバケツと大きな柄杓が置いてあり、その中に水が半分位入っています。最初は何か分りませんでしたが、水をそのポリバケツにためて、柄杓ですくって頭を洗ったり石鹼を使ったりするそうです。また他の日本人宅に泊めて頂きましたが、そこは井戸ではなく、日本の給水車みたいなのが水を売りに来るので、タンク一杯幾らと水を買っていました。値段を聞きましたが、忘れてしました。たいした金額ではないと記憶しています。

先にも書いた家賃30万円のビレッジやコンドミニアムでも、水不足は同じで日本のように勢いよくジャーツとは出ないようです。まず家賃10万円位で、マカティまで車で30～40分といった所は、水で相当苦労すると思いました。

車について

マニラに住んでいる日本人に言わせると、自家用車は絶対必需品だそうです。何故ならホテルの前から乗るホテルタクシーは、まず行き先を告げ料金を支払うので問題はありませんが、流しのタクシーを拾うと殆どメーターを倒してくれません。乗る前に料金交渉しても、メーターを倒した場合の2～3倍の料金になりますが、言葉

が通じないので仕方無いかなと思いつながら乗りました。

マニラに10年住んでいる女性も言っていましたが、一人で流しのタクシーを拾う時は、何処へ連れて行かれるのか分からぬので緊張するそうです。

また何処の道路でもタクシーが走っている訳ではないので、ある時日本人宅からタクシーを電話で呼んでもらった事がありました。「すぐ行きます」と言う事でしたが、タクシーが来たのは二時間後でした。以上の点から自家用車はあった方が良いです。でも中古はすぐ故障するので、日本製の新車の方が高いかもしれません、長い目で見れば、お徳だそうです。でも自家用車が使えない日が週に一回あるようで、その時はお互いさまで日本人同士相乗りして目的地に行っているようです。

メイドについて

殆どの日本人家庭はメイドがいます、が 私達日本人は生まれた時からメイドのいる生活など経験した事がないので、メイドがいて家事や雑用などから開放されて助かっているよう、実は戸惑っている部分もある様です。朝の5時半から起きて、夕食の片付けが終わるまで、長時間よく働いているなーと思っていましたが、そこまでにするには、その家の主婦が実に根気良く、文化も慣習も違う中で食卓の拭き方から掃除の仕方、アイロンのかけ方、料理の仕方、食器の洗い方等々、一から十まで教えているのだそうです。

ようやく気心も分かり始めた頃になると「親の病気だ」とか「兄弟が事故を起こした」とか言って給料前借の話が出てきてイヤな思いをしたり、また急に「私、辞めます」と言って辞めたり、その度に「私はフィリピン人を嫌いになっていく」と言った人も居ました。

でも中には10年以上も気の合ったドライバーやメイドと居る人もいるし、何人も入れ替わったか分からぬと言う人も居ました。

ただフィリピン人のメイド仲間では日本人家庭での労働、待遇が良いので、人気がある様です。つき詰めれば、日本人家庭での労働は楽で休みが多く、給料も高く、他のフィリピン家庭や中国人家庭に居るメイドは大変なようでした。

最後に私の感想

マカティには住めないといました。まず金銭的に住居費が高過ぎます。水が不足するので、常に頭の中に水がインプットされています。空気が排気ガスで汚い。とにかく私には住みづらい所に思えました。

1ヶ月の生活費を100万円も使えるなら、こんな良い所はないでしょう。要はお金次第。お金の無い方は近寄らない方が無難でしょう。

この11月九州支部の方々にお願いして、セブやダバオの探訪ツアーに同行させてもらい、私なりに見聞を広め安心して生活出来る場を、根気よく探したいと思います。
～では又～



スポットニュース

平成11年10月 会員No.198 埼玉県在住 川上 雅久

§ 日本人が入院出来る様な病院の入院費（保険無しで、公立のちゃんとしたフィリピンの病院）

・普通の個室1日の入院費；500ペソ（エアコン、冷蔵庫程度付き。TVはなし）

・Makati Medical CenterやManila Doctor's Hospital等の特別室などは別。

以上

初めての海外旅行

～とうとう行きました。フィリピンセブ島～

平成11年9月

会員No.146 香川県在住 大内 裕子

高松～関西空港までのアクセスはいろいろあります。

1. 飛行機 高松～関西空港の便：午前8時25分発

関西空港～高松の帰便：午後7時10分発

金額1人片道：11,300円

2. 車 明石大橋（約5時間）：9,880円 但しガソリン代、関西空港駐車料がかかります。

3. JR（約3～4時間）：8,890円

高松～岡山（マリンライナー）

岡山～新大阪（新幹線）

新大阪駅～関西空港（特急「はるか」）

私たちはNo.3を利用しました。飛行機が1番便利ですが、2匹の犬をペットホテルに預けてから出発する為、あえて乗り換えの多いこの方法とりました。

ペットホテルの料金は2,500円／1泊。彼らにとつては4日間の修行です。

特急「はるか」で45分。海上の橋を渡ると もう関西空港です。

JRは関西空港の2階に続いている、入り口まで5分ほどです。関西空港はとても広く、2階はショッピングセンター、3階はレストラン、4階は国際線出発ロビーになっていました。

自分の乗る航空会社のマークを探し、右や左へ進みツアーチケットの集合場所を確認し、団体受け付けコーナーへ行く。（JTBとかHISとかある）。そこでパスポートを見せ往復の航空券を受け取りました。（これが2時間前）すでに搭乗手続きがしてあり、この時荷物を預ける、そして何番口へ行けば良いかを確認し、そして食事。

この日は日曜日だった為か、3階レストラン街は非常に混み合っていて、列車の中で駅弁を食べてきたら良かったなアと思いました。

出発1時間前、出発ロビーに入る為には空港施設使用料（大人1人2,650円）が必要で横の自動販売機にて購入。

次は手荷物検査、先のハイジャック以来X線検査がより強力になったらしく、私はヘアーピンでピーと鳴りました。え？ こんなんですか？ 女性検査官によるボディチェック。

出国カードに必要事項を記入。日本語で記入します。旅行代理店で先に貰っていたのですでに記入済。

出入国カードが、点点でくっついていてワンセットになっているのでそのままパスポート出入国カード搭乗券を検査官に渡す。帰りの入国カードはホチキスで止めてくれました。パスポートのカバーを外しておきます。

最後はフィリピン機の搭乗口までシャトルに乗ります。ちょっとモノレール風 5分程。そこでやっと搭乗口へ到着です。出発ロビーに入ってから約40分～50分かかりそうです。時間に余裕を持っていなければ乗り遅れることもありそうです。

飛行機に乗り込みシートベルト締め、いざ離陸。しばらくすると機内食がきました。初めてのフィリピン料理ココナツの味がして、ちょっと食べたことのない味です。

時計を1時間遅らせる。機内でフィリピンの出入国カードをもらいました。私たちはすでに記入にしてるので大丈夫。

午後6時15分セブ到着。

ああ夢にまで見たフィリピン。国際空港といいながら蛍光灯も半分消してあり、華やかな感じはありません。日本は何と無駄なエネルギーを消費しているのかと思いました。

まず、荷物を受け取り入国審査を受けます。パスポート、出入国カード（ワンセットになっている）航空券を見せると入国カードに印を押してくれ、そして投げて返してくれた。ウーン、フィリピンらしい？ それから手

荷物検査、ここでは親切にも私のパスポートをバッグに入れてファスナーを締めてくれた。印を押された入国カードをあの人に渡しなさいと言う。夫にはそんな親切な指示はなし。

2~3人の人が寄ってきて、両替所へ案内され夫はパスポートを見せ用紙にサインをし、2万円を6,000ペソに両替した。

空港を出ると迎えのフィリピン人が沢山いて、私の胸のHISのバッジを見て、こっちこっちと手招きをする。

大きな画用紙に大内様と書いてある。ガイドのアリンが“私が大内さんの担当です”と上手な日本語で出迎えてくれて一安心しました。

向かいのビルから沢山の人がこっちを見ている。いったい何をしているんだろう。夫は“日本人が珍しいんだ”と言うけど、そうかなア。

ホテルの出迎えのバスに乗り、アリンがいろいろ注意事項を言ってくれる。車の中で両替をしてくれた。ペソが余ったらまた円に替えてくれると言う。2万円で6,600ペソ。空港より率がよかったです。

ホテルに到着 アリンが部屋を決めてくれている間、ゆったりとした藤のソファーに腰掛け夫はアイスコーヒー、私はアイスティーを注文した。しかしながら夫のコーヒーはホットだった。

アリンが渡してくれたホテル内で使える割引カードは、最初の飲み物が無料だったり、食事が半額になったりする券でかなりお得です。

部屋でシャワーを浴びたあと、フィリピン料理を食べることにしました。量が多くて、1人前を二人で食べて十分過ぎる程でした。

アリンのアドバイス通り、翌朝はルームサービスを頼むことにした。私は朝6時のモーニングコールと7時の朝食を電話で頼んだ、ホテルの中はジャパニーズナイズされていて日本語がかなり通じるが、やっぱり片言でも英語を使ってみたい。

翌朝 7時 豪華な朝食が運ばれてきた。ベランダに出てテーブルクロスをしいて目玉焼き二つ、ハッシュドポテト、大きなソーセージ3本、フルーツ（スイカ、マンゴー、パイナップル）バタージャム、蜂蜜、マンゴジュース、コーヒーにビッグなクロワッサン3つ……が一人前。んーーーデリシャス！ 一人分335ペソ。

それから市内観光へ。道路は交通量が多く車、ジプニー、バイク、人、山羊、犬も通る。躊躇ないのでしょうか。ドライバーが大きな道を左折したところで警官に呼び止められた。今日から左折り不可との事、何の標識もなかったのに………300ペソ渡して許してもらつたらしい。???

ビバリーヒルズ地区では本当の超高級住宅が並び日本人の家も一軒あった。やはりどことなく和風の家。箪があったので箪船をアリンに教えると、息子が喜ぶと言ってとても嬉しそう。あとハンカチのバナナとねずみも教えてあげた。親心は万国共通のようだ。

ショッピングモールはまるで高級デパートだった。肉はキログラム単位、60ペソから120ペソでこれは大変安い。おみやげにアリンが“絶対おいしい”と言うシャムロッククッキーを買った。可愛いパッケージに入っていて10個まとめて198ペソ。源氏パイのようで美味しいかった。夫は亡き母に豪華な龍の飾りのあるローソク、これは2本で60ペソ。日本では当たり前のケーキ屋さんや自動販売機は見当たりませんでした。

車の中 カメラマンが写してくれた私たちの写真1枚1,000円9枚で9,000円、うーん ちょっとお高かった。

3日目 ホテルのプライベートビーチで1日過ごす。私はライフジャケットと足ヒレを借りる。178.5ペソ。何時間も飽きもせず熱帯魚を見て過ごす。しばらくして夫は自分もライフジャケットをただで借りてきた。夫の語学力は凄い？ マンゴを丸かじり、そしてちょっとお昼寝……。



私と夫のツーショット、セブのお寺さんで

ああ 明日はもう日本です。

朝5時半ロビーに集合 ホテルをチェックアウトし、空港へ向かう。すでにアリンが搭乗手続きをすましてくれていたので出発ロビーへ入り、窓口で空港使用料550ペソ支払う。誰かに頼むとチップを要求されるので要注意との事。搭乗券にペタッと貼ってくれて次は手荷物検査。ここでもヘアピンがピーでボディチェック。そして出国審査。入国の時の片割れを渡す。次でもう1度手荷物検査。“マダムライターは持っていますか”と聞かれ“はい”と渡してしまった。折角アリンが喫煙席してくれたのに意味ないなーと思う。



シャングリラ・マク坦・リゾートホテル（三野氏撮影）

待合所でちよっぴり残ったペソを免税店で使おうと、タバコを1カートン買った。が やっぱり少し足りなくて円で支払うと、こんどはお釣がドルで戻ってきた。

成田行；午前8時発、大阪行；午前8時10分発入り口は1つだったが係員が“ナリター／＼、オオサカ／＼”ときちんと教えてくれるので大丈夫だった。

そして離陸。今度は時計を1時間進ませておく、小さくなっていくセブ島をみながら“また来るからね”と呟いた。

さて 隣の席を見ると、皆 ライターでタバコを吸っている。あれ？ ライター持込はだめだったのに正直に渡したのはどうも私だけだったようです。夫はちゃっかり隣の若いお姉さんに借りていた。

午後1時半関西空港着

飛行機から降りるとエスカレーターを上ってシャトルに乗り、手荷物受取所へ。そこで手荷物検査、夫は最初独り者と思われたらしくバックを開けるように言われていたが、夫婦と分かるとすんなり通してくれた。夫婦連れは信用が厚いらしい。わからなくはない……

次に入国審査。ホチキスで止めてあった片割れを回収され、JRの乗り口へ向かう。

特急「はるか」に乗ると大阪公園には、ホームレスの人がブルーシートで几帳面に小屋を囲んでいる。

はー これも日本の風景だわと思う。

新幹線の中で幕の内弁当を食べる。ちょっと お高かったけど4日ぶりに食べる日本食はやっぱり美味しかったです。

参考 (今回のツアー案内)

- 1、旅行代理店；H I S (超格安で有名です。体験して確かに代金、サービス共に問題ありませんでした。)
- 2、旅行代金；￥66,800／1人、
- 3、条件 件；3泊4日、航空券(フィリピン航空)、ホテル、現地ガイド(日本語上手)複数、空港・ホテル間の入出国時送迎付、
- 4、ホテル；シャングリラ・マクタン・アイランド・リゾートホテル、(立派なホテルでガイドブックによると1泊15,000円程度のホテルだそうです。)

最後になりましたが私のポシェットは、パスポートが入る程度の可愛いものにしたのですが、航空券が真っ直ぐ入るよう、幅25cm位のもう一回り大きいものにした方が良かったと思いました。それから何かと書くがあるのでボールペンを1本バッグの中に入れて良かったです。

次回は何としてもダバオを訪れてみたいと思います。ダバオ滞在中の北川様の「おいでよ常夏の国ダバオへ」、森川様の「ダバオからの報告」と直接森川様に電話で現地の様子を伺い、是非その機会が訪れる事を楽しみにしております。

◎フィリピンの好きな女性より

二度目のフィリピン

(女性の目から見たフィリピン)

平成11年9月5日

会員№12 大阪在住 大橋 敏子

この度（8／6～8／15）マニラ、ダバオ、ペルトアズールを私達夫婦で訪問してきました。

今回は、前回とは違いどの様な所か『自分の目でみたい』と、気持にも少しばかり余裕がありました。

8月8日、マニラ空港より国内線（セブ・パシフィック航空）でダバオに行く時、空港に着くと親切に荷物を運んでくれる制服の人、まさかと思ったが、会員の方から聞いていたにもかかわらず、まんまと引っ掛けてしまった。100ペソも主人は払った。日本円にすれば300円と少額だが、孫の洋服と同じ額、高い授業料を払ったお陰でそれからは親切に近寄ってきても「ノー」とハッキリと断った。くれぐれも皆さん気を付けて下さい。

ダバオでは大変忙しい森川さんに出迎えていただきホテル迄、午後から日本語学校へも、生徒達は皆にこやかで、私達を見ると向こうから「コンニチワ」と挨拶してくれた。日本では余り見られない事だ。皆きちんと制服を着ている。街で見掛ける生徒達もきちんと制服姿でした。日本のように短いスカートにルーズソックス、髪の毛を赤くして化粧をしたような生徒は一人もいない。街のスーパーマーケットでも見掛けるが皆んな生徒らしい格好だ。日本人とは大違い。

ドミトリー（研修・宿泊所）を見せて頂いたが立派な建物だ、スタッフの一人ジュンセブン青年と森川さん、休日にもかかわらず朝早くから近くの海岸と広大なバナナ園へ、バナナを早く熟成させる為に空気穴のあいたナイロン袋をバナナの房にかけてある。1ヶ月は早く収穫出来るらしい。日本のハウス栽培と同じようです。バナナも良く熟してから採るので甘みが違ひとっても美味しい。

海岸では子供達が泳いでいる。日本のように女子は肌を出した水着ではない、服を着たままだ。

その子供達に中国から来たのかと聞かれた。「No, JAPAN」と答える。次に英語で聞かれたが何と尋ねられているのか分からぬ。明日また来るのかと聞いていたようだ、情けない事です。英会話の勉強をしなくちゃとつくづく思いました。

帰りの道端にぶら下って売られている果物、確かドリアンのようだが高価な果物が露店で、話のネタに食べてみると森川さん、ジュンセブンが美味しそうな大きいのを選んでくれた。値段はたったの170ペソ（500円位）嘘のようだ。ドミトリーに帰り、切ってもらう。もっときつい臭いかと思ったがそれ程でもない。しかし現地の人でも余りいい顔はしないらしい。ドミトリーの事務所の皆さんゴメンナサイ。
果物の王様と言われるが、私には竹内会長宅で頂いた、マンゴーを丸ごとかぶりついで食べたのがよっぽど美味しかった。でも日本では高くてなかなか口に出来ない果物です。

ダバオでは二つのホテルに宿泊しました。最初はカーダル（Cardal）ホテル、このホテルのグレードは普通。私達は早速買物に出掛ける。一日中でも買物したり食べたりして居られそうな巨大なショッピングセンター「ガイサノセンター（Gaisano Center）」です。とにかく衣類は日本の半値、と言って品質が悪い訳ではない。洗濯しても色落ち、縮み、首回りが伸びたりはしなかった。

買物に行く時ホテルの裏で洗濯物を干させてもらった。帰ってみると綺麗にアイロンが当てられ手渡された。もちろんサービスで 私はビックリ、本当に親切だ。街で見掛ける人達も綺麗に洗濯されアイロンを当てた襟のシャツを着ている人が多い。私達といえば洗い晒しのTシャツに短パン、少し恥ずかしかった。

もう一つのホテルこれ最高、ダバオ№1のホテル（インシュラー センチュリー ホテル）、広大な庭園にプール、海岸もすぐそこ、一日中ホテルに居ても退屈しないでしょう。これがリゾートホテルと言うものでしょう。この素晴らしいホテルが、なんとツイン1室朝食付で1,800ペソ（2人で5,400円とは本当に驚き）でした。（フィリピン・日系人会所属の森川さんの紹介で、先ごろ経営者が変わり経営方針も変わり安くし集客目的らしい。）日本だったら1人2万円はするでしょう。

このホテルに移動する時のタクシーでの事、タクシ一代53ペソで私は100ペソ札を渡したら釣り銭がないと

の事、私達二人で小銭を合わせて50ペソしかない。主人が両替に行こうとしていると、ドライバーが50ペソでOKと言って走り去った。タクシー代をまけてもらったのははじめてだ。買物、公園とタクシーを使っても30~50ペソ(100~150円)と大変安い。日本では市バスにも乗れない。会員の田口さんにもお目にかかりました。この方も生き生きと楽しそうに日系人の学校で日本語教育のお手伝いをされていました。

森川さん本当にお世話になりました。お二人とも日本語教育をボランティアで活動されています。

8月12日、竹内会長宅へ、2度目なのでドライバー、メイドさん達とも「ハロー」と挨拶。やっぱり広々としたお宅なのでユックリくつろげる。

居住地候補の島と2、3の居住地、カビテ州のパラダイス、ダバオの森川さん宅と訪問させて頂きました。みんな広々として日本と比べたらなかなか、どういう家が建つか想像がつきません。パラダイスでは女性の方が一人で暮らされても安全とお聞きしました。

竹内会長宅のバスルームに出来たら洗面器を置いて頂けたら有り難いと思ったのは私だけでしょうか。

2回フィリピンを訪れて思った事は日本と違って涼しい。新聞などでは気温は日本と余り変わらないが、日陰に入ると汗を気にしないで暮らせる。なんとインシュラー・センチュリーホテルのロビーはクーラー無し(ベッドルームはクーラー付き)で、屋根と柱があるだけ、屋間一日中居ても汗をかかない。日本に帰り まず強烈な印象は蒸し暑さで身の置き所がない感じ、また自宅の庭の植木に水やりをすると虫に刺され、何だか逆ではないかと錯覚する今日この頃である。

物価が安く、食べ物も美味しい。広々としている。それに子供達も良くお手伝いをする。とにかくフィリピンの人達は陽気で早起きだという事が分かりました。

主人がフィリピンを言い出した時は、なんでフィリピンなの、まず拒絶反応を起こしました。が 体験してみたら好きになれそうです。これからも何度かフィリピンを訪れていろんな所を見て、楽しい老後が送れる場所を見付けたいと思います。

皆さん本当にお世話になりました。

・・・日本に帰り、また現実に戻り頑張っております。・・・



インシュラー・センチュリー・ホテルの庭

インターネットの勧め

平成11年10月

会員No.101 東京都在住 高沢 弘晃

前回まで、フィリピン訪問記を書かせていただきましたが、今回は突然、趣向を変えて、インターネットの勧めについて書かせていただきます。

紀行文についても余り真面目に書いていないのが、急に何を書くのだと驚かれるかもしれません、また「南の会」に関係ない案件ではないかと思われるかもしれません。

しかし、この「南の会」に入会された方々の2割以上が、竹内会長のインターネットを見て加入されています。逆に見ていない方は是非、一度インターネットと言うものを利用し、自分の世界を広めては如何でしょうか。

勿論 既に利用されている方々にこのような話をしても釈迦に説法みたいなものですが、その方々はこれ以上

は読み飛ばして下さい。

インターネットを利用したいと言う動機は何ですか、と聞くと、色々な情報をインターネットを利用して知りたい。自分の世界を広めたい、なんて格好のいいことを言うのですが、小生は皆さんと違って動機は非常に不埒でした。

本屋で立ち読みをしていると、インターネットによる裏情報、アダルト情報が無料で、更にカラーで見れる。なんて大きく書かれ、早速 手を出した次第です。

確かにインターネットを利用してみると、その時点ではカラーで無料です。が 夢中になり突っ込んで見ようとキーを叩いた瞬間有料となり、その情報の殆どが外国からの情報が大部分で、後日KDD（国際電電）から目ん玉の飛び出るような法外な国際電話料金の請求書が届きますのでご注意下さい！！。

まあ 小生の動機の話などいい加減にして、インターネットで何ができるのですか？。

それはまーテレビと同じです。チャンネルで自分の見たい番組を探すように、インターネットで 自分の気に入ったホームページを探し楽しむ、テレビと違って放送時間を気にしなくてもいい、用事があれば、適当な所で打ち切り、又後で続きを見る、更に文字も画像も、音声も楽しめるという事です。

最初のうちは何か宝の山に迷い込んだような気分です、自分の欲しい情報がいとも簡単に入手でき、時間の経つのをすっかり忘れてしまいます。

国境のないインターネットでは、一部話題のアダルト、（小生の導入のきっかけ）、その内容についてはあまり過激なので、詳しく書けないくらいです。「どうしてそんな場所を知っているの？」と言われそうだけれど、いや、まあ、それは…………導入のきっかけでしたので。

それはそれとして、インターネットは趣味ばかりじやない、当然実用情報もある、我々の会の目的である、海外のロングステイ地の情報、ロングステイ財団もあり、竹内会長もあり、小生も南の会を始めて知ったのもインターネットでした。

又南の会でも何人の方々が情報提供をしております。小生は旅行の前には必ず検索し、下調べをすると もうすっかり旅行気分に浸っております。

例えば株価情報、ニュース、競馬情報、勿論世界の買い物も全て大丈夫、貴方も今すぐインターネットの虜になります。

更に別の使い方としては、電子メールの利用も便利で、海外であろうが国内であろうが何時でも簡単に送れ、料金が格安です。

小生の会社では社内メールが浸透しており、連絡、打ち合わせ等は殆ど、電子メールで電話の使用、会議が非常に減り、事務の効率化に大いに役立ち重宝しております。事務所の机はパソコン2台と電話2台のみ、勿論仕事中でもインターネットを利用し鉛筆、電卓等はなく、殆どの仕事はこれで充分、時代は変わったものです。

では、南の会はどうか。

一番いいのが会員同士の情報交換、意見交換、或いは事務局からの連絡事項、に使用するのは如何でしょうか、外にあまり出られないが会員と意見交換したい、竹内会長と電話代を気にせず話したい、更に海外であろうが国内であろうがいつまでも関係なく話したい、これを満たしてくれるのはやはり、電子メール、及びインターネットの利用ではないでしょうか。

更に、「チャット」と言って参加者全員で自由に何時迄も会話が可能な方法もあります。これも面白いです。是非試してみてください。

いい事ばっかり話しましたが、それではどうすれば出来るのか、と 言うことです。「道具」として何を用意すればいいのか、勿論インターネット利用可能な機械を用意する。つまりパソコンやワープロ、携帯端末、CATV等を利用します。

一般的にはパソコンでしょう。利用法は色々あり（ワープロ、表計算、データベース等）その中の一つとして

インターネットを利用してみたら如何でしょうか、金額的には10万円前後で新品が買えます。更に安くする方法もありますが……。

次にインターネットの接続業者と結ばないとインターネットを利用できません。別名「プロバイダー」ともいいます。このプロバイダーは必ず自分の住んでいる所にアクセスポイントがあるかどうか確認して下さい（コストが全然違います）。ただ安いだけでも駄目です。目安は月2,000円以内位がいいと思います。最近は非常に安いプロバイダーもありますが、電話を掛けたら全然繋がらないと言うことに、なりますのでご注意を！！又アクセスポイントが自分の住んでいる市内にありますとNTTの電話料「テレホーダイ」が月1,800円で使い放題利用できます。但し夜の11時から朝の8時迄です。朝早いみなさんに目覚まし代わりに2時間程利用してみては如何でしょうか。

以上で経費は幾ら位でしょうか。

まず道具、パソコンやワープロ等を所有している方は不要ですが、全く新規となるとインターネット付きで10万円位です。勿論、携帯端末（PDA）等であれば3万円位からあります。

来年の3月頃にソニーのプレイステーション（38,000円）でインターネットが利用出来るようになると新聞に掲載しておりましたが どうなるのでしょうか。

次にプロバイダー（接続業者）の費用、加入料が取られる所もありますが、現在は過当競争が厳しく加入料なし、月980円という所もありますが月2,000円見当が適當でしょう。

また皆さんの住んでいる所にケーブルテレビがあればインターネット付きと言うのがあり、そこでは全てで6,000円位のことです。

次に電話代 これは昼間ですとアクセスポイントまで電話を掛けることになりますので、その費用は昼間3分10円となる従量制です。 しかしこれもテレホーダイを使うと月1,800円で使い放題です。

以上締めて1ヶ月の経費はプロバイダー2,000円、電話代1,800円という所が最低です。が 上限はきりがありません。即利用してみてはいかがでしょう。

次にホームページというのがあります。 これは自分の作った情報を世界中の皆さんに、是非見て欲しいと言う時に作成します。自分の好みの絵や文を入れて世界中に訴えて下さい。

当「南国暮らし夢の会」では先程のように会長や大勢の方がホームページを作り、情報を提供しております。今後 当会は発展して「南国暮らしの会」としてのホームページも作る予定です。そこにはロングステイの海外情報、会員の交換情報、事務局の案内、新規会員の募集等を掲載します。

是非皆さんからの情報提供をお待ちしております。

パソコンはとても便利な道具です。パソコンを使わずして21世紀は生きていけません。「南国暮らし夢の会」の方も全員利用しましょう！！。

なんて言うと君はパソコンメーカーの回し者かと言われそうですが、今パソコンに夢中で、近々 自分でパソコンを組み立てる予定です。 もしインターネット利用を考えている方は御相談ください。お手伝いします。

小生のメール、及びホームページも参考にご覧ください、意見もお待ちしております。

高沢の電子メール fwjcw5962@m.b.infoweb.ne.jp

ホームページ http://village.infoweb.ne.jp/~fwjcw5962

(～はSHIFTキーを押しながら平仮名の「へ」の所を押して下さい。)

～ではまた～

<初めてのダバオ>

早いもので、33年間のサラリーマン生活に終止符を打って、4ヶ月が過ぎようとしています。

本年5月発行の南の会会報に書き記したように、思う事があって、3年早い定年退職を決めてから、HPで竹内ご夫妻のフィリピン定住の事を知って、即座にこの「南の会」に入会させて頂きました。

3月の会合に初めて参加した折に、参加者の何人かの方から、「ダバオがとってもいい所だ。」との噂を小耳に挿みました。

ペルトアズールの竹内邸に初めて滞在させて頂いた折に、どんなにダバオがいい所なのか、自分自身の目と足で確かめてみようと、訪れて見たのです。

マニラ空港から、国内便のCebu Pacificで、一路ダバオへ。所要時間は1時間と30分です。

コバルトブルーに輝く、美しい透明な海の上空を、飛行機がダバオに向かう中、機内では機内スタッフが乗客相手に、マイクを使ってゲームを始めました。

簡単なクイズをやって、答えを当てた乗客に賞品を出していましたが、アットホームで、楽しい雰囲気が盛り上がって、何となくこれからのダバオの旅の楽しさの予感が感じられました。

<ドリアン王国ダバオ>

ダバオの空港は、親しみ易い印象で、頬を横切る風の香りと感触が、何となく以前訪れた、メキシコのカンクン空港のイメージとオーバーラップしました。

空港前に、ドリアンを手にした銅像が立っていて、ドリアン王国ダバオのイメージを強調していました。

早速予約してあつた、Insula Century Hotel（インシュラー センチュリー ホテル）にチェックイン、想像以上のデラックスなホテルで、ホッとした事を憶えています。

聞くところによると、ドリアンにはシーズンがあって、私が初めて訪れた5月は、未だドリアンのシーズンではないそうで、8月まで待ちなさいと言われ、楽しみにしていたドリアンが食べれずに、ちょっと残念な想いでした。

初めてのダバオの夜は、心なしまニラより涼しい感じがして、風邪を引いては大変と、エアコンのスイッチをoffにして休む事にして、ふと部屋のテレビのスイッチを入れて、チャンネルを回していたら、ホテルのテレビには、

CATVが引いてあって、NHKの衛星放送が映り、リアルタイムでニュースが見れる事を知って、何となくホッとした。

<日本人会と日系人会>

翌朝、ホテルからタクシーに乗つて日本領事館へ向い、ダバオにあると聞いていた日本人会の情報を入手しました。あいにく、日本人会の三宅会長は、留守で会えず仕舞でしたが、日本人会は会員30数名の組織で、ダバオにはこの日本人会とは別に「日系人会」と言うのがあると知られ、早速その「日系人会」の方へ車で移動しました。

ちょっとびっくりしたのは、聞いていた「Mamay Road」と地名を言った途端に、現地のタクシードライバーが「Nikkeijin-Kai? (日系人会)」、と聞いて来た事で、後になって分かったのですが、ダバオでの「Nikkeijin-Kai (日系人会)」の存在は、かなりポピュラーなのです。

その日系人会の敷地には、小学校が建っていて、ちょうど私が訪問した時には、可愛らしいフィリピン人の小学生が沢山校庭で遊んでいました。

この小学校（幼稚園併設）は私立の学校で、日系二世～五世の子供たちが、約20%在学しているそうで、在学生の数は年々増えて、現在は約500名の生徒が在籍しています。

ダバオの小学校では、唯一授業の中に日本語教育を取り入れていて、スタート当初から、東京の調布市に本部を置く、「日本フィリピン・ボランティア協会」（網代正孝氏主宰）の支援を受けながら、大きく育って来たそうです、日本語教師もこの協会の支援で、ボランティア教師がお手伝いしていると聞きました。

南の会の会員でもあり、当会報の5号に寄稿されている、森川忠士氏が本年4月からボランティアとしてダバオに赴任し、協会の活動の全てに関与され、なお且つ日本語教師として、熱心な奉仕活動を続けておられます。

<ボランティア日本語教師>

東京に戻り、早速調布にある網代氏の主宰する、日本フィリピン・ボランティア協会を訪ね、自分自身の希望、つまり、ダバオにロングステイしたいが、毎日遊んで暮らしては、老化も一気に進んでしまう恐れもあるので、ダバオの日系人会の小学校で、未経験の私に、日本語教師のお手伝いが出来るかどうか、率直に尋ねたところ、快く受け入れていただき、私自身のダバオでの日常活動が決まりました。

日系人会小学校では、6月当時、幼稚園児と小学1年～4年生の低学年児には、現地語、つまりビサヤ語の分る、日系の先生が担当しており、先の森川先生は5年～6年生を担当し、英語を使って生徒たちに日本語を教えていました。6月の二度目のダバオ訪問の際に、森川先生にお願いして、授業を見学させて頂き、日本語授業の様子を知る事が出来ました。

そして、7月の初めに本格的にダバオ入りを決めて、日本語新米教師の活動がスタートしたのです。

私の担当は、ちょうどそれ迄担当していた、日系の女教師が8月から日本へ行く事が決まっていた、タイミング良くその先生の後任を引き受ける事になり、担当は3年生と4年生ですが、何とか英語での授業がこのクラスでは可能と言う事でした。

<住まい探し>

当初はホテル住まいでしたが、一日も早く住まいを見つけねばと、日曜日こタクシーに乗って、住まい探しを始めました。

日本のように不動産屋があるわけではないので、休日の新聞広告などを調べて見ましたが、広告物件の数が極端に少ないので、これは自分自身の足で調べるのが一番と、先ずは学校へ歩いて通える近場から探し始めました。

そして運良く、学校の近くに格好の借家を見付ける事が出来ました。家賃は月7,000ペソ（約2.1万円）寝室が2部屋と、キッチン付の大きめのリビングルームのある格好の家です。

家具類も、冷蔵庫、食卓テーブル、応接セット、ベッド、テレビ（CATV付き）、電話など一通り付いていて、なかなか良さそうな家でした。

ただ、ひとつだけ困ったのは、シャワーからお湯が出ないとの事でした。きっと常夏のダバオの一般家庭では、冷たいシャワーで一年中間に合わせてしまうのでしょうか。

人一倍汗っかきの私は、やっぱり熱いシャワーで汗を洗い流したいので、家主と交渉して、電熱シャワーを取り付けて貰う事で、心配は一気に解決しました。

もうひとつラッキーだった事は、その家の家主夫婦（子供2人との四人家族）が、裏手の別棟の家に住んでいた事でした。

家主一家も、私が借りようとしている家と同じ正面入り口を通って、裏の別棟に移動するので、これだったら日中留守をしていても、防犯面での心配がないと、安心感が深りました。

更に交渉の結果、毎日の部屋の掃除と洗濯を、その家主夫婦に、月1,500ペソ（約4.5千円）でお願いする事が出来、全てが順調に、とってもラッキーなスタートを切る事が出来ました。

<インターネット・プロバイダー事情>

5年前から始めたパソコンは、今や私にとっては必需品となっていて、メインはインターネットを通して、日本やその他の国に居る、メール友達とのメールを通しての各種の情報交換です。

インターネットはご存知のように、地元にあるプロバイダー（接続業者）と契約を結び、所定の金額を毎月支

払う事によって、地元のプロバイダーの持つ電話番号に繋いで、世界と結び合う事が出来るので、国際電話に比べて極端に安い経費で、遠く離れた国に住む友人と、リアルタイムでの交信が出来るのです。

最近は「チャット」と言う、遠く離れたところに居る者同士が、まるで電話で会話をするように、文字でリアルタイムの交信、つまりチャット（会話）まで出来るのです。

勿論この場合は、もし私がダバオに居て、友人が日本の東京に居た場合、私はダバオの接続業者の番号に電話をかけ、相手は東京都内の接続業者に電話をしているわけですから、電話料金を気にする事なく、アクセスが出来ます。ダバオにもインターネットの接続業者がいくつかあつて、私も早速そのひとつと契約して快適なインターネットライフを満喫しています。

<ダバオの物価事情>

ダバオの諸物価の安さには、本当に驚かされます。

マニラには住んだ事がないので、比べる事は出来ませんが、ダバオは物価の安いマニラより、更に安いと言われています。特に交通費、食費、衣類の安さにはびっくりしました。

タクシーの初乗り運賃が、エアコン付きで20ペソ（約60円）、ノーランダ・エアコンタクシーだと14ペソ

（42円）乗合自動車Jeepney（ジープニー）は2、5ペソ（8円）で、タクシーの50ペソ分の距離まで行けるんです。

食費は、簡単な屋台風のところでの昼食は、約80～100ペソ（240円～300円）、ちょっと小奇麗なレストランで食べても、一人200ペソ（約600円）も出せば、かなり美味しい料理が、飲み物付きで食べれます。

衣料品の安さも驚かされます。

紳士物のボロシャツが、いい物で一枚300ペソ（900円）、さすが輸入品は少々高くなりますが、それでも日本と比べたらかなり格安です。

先の家探しでは触れませんでしたが、実は家を借りる時に、自分用のベッドは新品を購入しました。

当地では、スポンジのマットレスのベッドが、一般的に使われていますが、スポンジは体温を発散してくれず、蒸し暑さが増しますので、一日の中で6～7時間も毎日お世話になるベッドなので、思い切ってスプリングタイプのベッドを購入しましたが、想像以上に安い値段に驚きました。（高級品クラスで1万ペソ・・・、約3万円です）

ダバオの庶民の娯楽である映画は、驚ぐべき安さです。

スーパーインポーズ（字幕）なしで、アメリカ映画が理解出来る国民が多いので、上映時期も日本に比べたらかなり早いし、とにかく入場料金が安いのです。

大抵の映画館は一階席と二階席に別れていて、一階席が30ペソ（90円）、二階席が40ペソ（120円）です。

この料金で、日本でも大ヒットしている、「スターウォーズ、エピソード1」が見れるんです。

勿論日本よりも高価な品物も当然あります。

一般家電の冷蔵庫、洗濯機、電子レンジなどの値段は、日本と余り変わらない感じがしました。

<スキューバ・ダイビング事情>

せっかく早めのリタイアを決め込んで、遙かダバオまでやって来たのですから、休日はセブ島あたりの綺麗な海に潜ってみようと、前々から念願だったスキューバ・ダイビングのライセンスを取る事にしました。

運良く、生徒たちの一学期の中間テストの週に入って、日本語授業は一週間お休みと知り、早速市内にある「Tourist Information Center」へ出かけ、ダイビング・スクールを紹介して貰いました。

Sant Ana埠頭の入り口に、そのダイビングスクールはあって、これも正にグッドタイミングで、明日から授業がスタートするとの事、早速申し込み用紙に必要事項を記入して翌朝8時にスクールに向いました。

二人のアメリカからのお嬢さんと一緒にレッスンで、当初プールでの予定が、急遽40分程先にある島へ向かうと知られ、何とまあ色々とツイているのだろうと感心している中に、船は目的地に到着。

とっても親切な若い Jeffly 君と John 君兄弟が、我々のダイビングの先生で、浜辺での基本講習を約2時間やった後、いよいよ実地訓練の開始です。

ウエットスーツが思った以上に身体を締め付け、おまけに酸素タンク、重りなどなどを身に付けると、ちょっと足元がふらつく程の「フル装備」に少々ビビリ気味・・・。

しかし、一旦海に飛び込むと、それまでの重みは何処かへ消えてしまいました。

年長者の私には、かなりの気遣いをしてくれて、正に手取り足取りの感じで、親切に水の中でレッスンを繰り返し、初日の授業は無事終了。

こんな感じで、4日間のレッスンがあつと言う間に終わって、最終日の実地指導の後は「筆記試験」です。

問題全てが英語で、専門用語も沢山出て来て、かなりのプレッシャーでしたが、合格最低基準70パーセントを幾分オーバーして、見事パス、無事PADIの国際ライセンスが取得出来ました。（4回の実地指導付きで、金額は6,500ペソ、約2万円でした。）

そして、今回のダイビングレッスンで判った事は、わざわざセブ島まで行かなくても、近場のダバオに、格好のダイビング・スポットが沢山ある事でした。

＜生き甲斐を求めて・・・＞

ダバオに住み始めて、未だ2ヶ月が経過しただけなので、未知の部分の方が多いのですが、ここに2ヶ月住んでの感想は、とにかくダバオの人たちの優しさ、暖かさ、人柄の良さを身にしみて感じている事です。

裏手に住む家主夫婦は特筆すべき存在で、私の事をまるで親戚と接するように応対してくれて、時折、裏庭にたわわに実っている「やしの実ジュース」を差し入れてくれたり、新鮮な魚がマーケットで手に入ったからお裾分け・・・、と言う、今の日本ではとうの昔に忘れてしまった、隣人との暖かい「ふれあい」を、ここダバオで体験しています。

自分自身の第二の人生の生き甲斐探しを更に続けて、悔いのない一生をここダバオで送ろうと、決心を新たにしています。

南の会の会員の皆様の中で、ダバオについて興味を抱かれた方、是非一度ダバオを訪れてみて下さい。

なお、私宛てのインターネットメールは大歓迎です。是非、E-Mailをお送り下さい。

E-Mail アドレスは:<yukkun@gatesway.com>です。

また、最近ネットサーフィンで、ダバオについての、日本語のホームページを見つけました。ちょっとデータが古いようですが、写真もいっぱいあって、ダバオを知るには最適だと思います。

URLは：<http://www.yk.rim.or.jp/~kenzx/DABAO-CITY/index.html>です。

～では又～

— ◇ —

1999. 9. 24

会員No.50 森川 忠士

1、「南の会」のメンバーがダバオ訪問の際、可能な限りお迎えに行きます。 平日前或いは1～2ヶ月前に「何月何日にダバオへ行きます」と連絡を貰いますが、真直の何便で何時に着くという連絡がありません。「2週間程前に手紙を出しました」と言われますが、私の家族からの至急便を含め葉書以外は届きません。日系人会を通じて郵便局にクレームしておりますが、今後も届かない事があると考えられます。

つきましては下記、

* J P V A 東京 ☎ : 03-5384-9536. FAX : 03-3326-5037 へ訪ダバオの連絡をするか、

*ダバオの DORMITORY : ☎ : 001-63-82-235-1865. FAX : 001-63-82-235-1863 または

*森川自宅：☎：001-63-82-234-1334へ直接連絡してもらうようご指示下さい。

2、JPVAは非営利のボランティア活動をしており、収入は会員の会費及び補助金で賄っており、「現地では森川・田口がお世話をします。」が1人500～1000ペソの寄付金をDORMITORYの寄付金箱へ入れて貰う様にして下さい。

ガイド・通訳でジュセブン君などが送迎し、車は運転手付きで貸し出します。

ガイド・通訳料 1日につき 1,000ペソ

レンタカー運転手付き／10人乗り 1日につき 1万円

寄付金は、日系人会運営の小学校、高校の設備・教材費にさせて頂きます。

*詳細は現地で森川・田口に相談して下さい。

3、DORMITORYに森川・田口の「生きがい研究所」を設けて、ロングステイの生活方法を話し合う場所を提供しております。ダバオ訪問の折には是非利用して頂くようお伝え下さい。以上

以上思い付くままに申し上げましたが、小学校以外の日本語授業もありましたが、「南の会」の他、ダバオ訪問の方々には出来るだけ対応し、ダバオのよさをご理解して頂くよう努めます。草々

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

ダバオからの便り (Eメール1～2便)

1999.10.5～8

田口 幸秋

日本は今朝あたりからすっかり涼しさが増して、一気に秋の陽気になった様ですね……。

ここダバオは日中は相変わらず30℃を越す日々が続いていますが、朝晩は結構涼しくなりました。

森川氏がすっかり元気になられて数日前にダバオに戻って来られました。たった1ヶ月余りの日本滞在でしたが、3kg以上も太ったとか、顔色も以前よりずっと良くなっていました。

1、ダバオでの長期滞在宿泊戸所について

さて、その森川氏が日本滞在中に「南の会」の酒匂氏から下記の様な相談を受けたそうです。

「南の会」のメンバーの中で、2～3ヶ月間のダバオ滞在を希望される方が居て、その方々への住居についての相談を受けました。

その件で、私から提案があります。

実は私がこの7月から借りている現在の家を、今月末で引っ越す事に決めました。今よりもかなり遠くはなりますが、ワンルームでかなり安い物件があったので、利息生活の私にとっては少しでも安い方が有難いのです。今の場所や家主もとっても良い人で気に入っていたんですが、先日新しい家の契約を済ませて来ました。

そこで私からの提案と言うのは、南の会のメンバー用に今私が借りている家を確保する事なんです。

この家は現在の家賃の月額は7,000ペソで（現在の換算レートだと約19,000円）、鈴木博さんもご存知の通り2LDKの一軒家です。（家主夫婦が裏の別棟に住んでいます。）一応家具付きで、冷蔵庫、食卓テーブル、応接セット、ベッド、テレビ、電話などが付いています。

空港から大通り一本で市内に向かう途中から少し入った所にある閑静な場所で、空港からタクシーで7～8分、市内の中心へも10分以内で出られる便利な場所で、直ぐ近くに大きなスーパーマーケットもあり、また日系人会の主宰する学校迄徒歩10分もかかる所です。

年間契約が出来れば家主は大喜びすると思いますが、2ヶ月とかの短期の契約も交渉の余地はあるような気がします。（まだ家主と相談した訳ではないので、これはあくまでも私見です・・・）

「南の会」のメンバーの皆様の中で、ここダバオが最近注目されつつあって誠に喜ばしい限りです。

◎10/7に酒匂氏から電話が入りました。

「南の会」としては現在その様な予算が無いので無理との返事でした。

年間契約で約20万円余となりなりますが、家賃についてはまだ交渉の余地がありそうでなので、他の心当たりを当たってみる事にします。

◇今年の11月にみえる九州地区のメンバーの皆さん宿泊ホテルをインシュラー・ホテルに決め、先日セールスマネージャーと交渉の結果、本年末まで特別価格を交渉してきました。

1泊1室(2名)朝食付き税込み価格で1,800ペソ(現在のレートでは1室約5,000円)
一人当たり2,500円です……。

今後ダバオに見えるメンバーがいらっしゃいましたら、私宛にご一報頂ければ上記金額で宿泊出来ます。

2. 医療費と旅行保険の件

*酒匂氏からの質問

先日森川氏が一時帰国の中大阪支部のメンバーと懇談した時に、森川氏がダバオ(フィリピン)での海外旅行保険が6ヶ月間しか使えない云々の発言があったそうで、その事の詳細の確認を頼まれました。

私自身はそのような話は初耳なので、早速森川氏に確認を取ったところ、あの話はあくまでも森川氏個人のリアクション(まれな例)の話と判明しました。

森川氏は個人でVISA(クレジットカード)のゴールドカード会員になっていて、今は何処のカード会社もサービスの為に「無料」で海外旅行の時の旅行傷害保険が自動的に付帯されていますが、そのVISAカードに付いていた保険の例を話したそうです。

なお普通のVISAカード(クレジットカード)は海外旅行の時の旅行保険の1回の有効期限は3ヶ月です。

私の場合はAIUの「海外旅行保険」に日本で加入しております、この保険は今の私のように全くのプライベートで海外に長期滞在する場合は最長保険期間は11ヶ月と規定されている保険です。(勿論期限が来たら更新は可能です)

私が加入しているのは、AIUお勧めの「04タイプ」の保険で、事故などの死亡保険金が5,000万円、疾病の治療費の上限が800万円、疾病で死亡の場合3,000円、賠償責任が6,000万円、救援者費用600万円、携行品60万円等となっていて、私はこの他に別途特約を付帯しました。

その特約とは、私が日本に一時帰国している間に、日本で万一の事があった場合でも、その一時帰国の期間が1ヶ月未満の場合は上記の保険でカバーされます。

因みに、先月の一時帰国際に風邪を拗らせて病院へ行き、約4万円の出費があって、ダバオに戻る前に日本で請求手続きを郵送でやったところ、1週間もかからずに指定の銀行に入金されました。

私は区役所に海外への転出届を提出し来ましたので、国民健康保険は持っていない。懸念される日本に帰国し住む場合は、転入届を提出すれば国民健康保険の権利は出来ます。

肝心の「保険料」ですが、上記の条件で加入して11ヶ月分の保険料が123,300円でした。日本の国民健康保険料より大部安いのではないでしょうか???

最後にもう一つ……、このAIUの保険サービスは、万一病気などになって病院で治療を受ける時の経費は、基本的には当人が一旦病院へ費用を立て替え払いする必要があります。

が、マニラにある「Makati Medical Center」と「Manila Doctor's Hospital」の2ヶ所の病院ではAIUが特別提携をしているので、キャッシュレスでの治療が受けられるそうです。

以上の一般的な情報を是非の会員の方に連絡してあげて下さい……。

～では又～

会員№58 千葉県在住 山之内 晶子

8月22日から3週間、上海よりウルムチに入りウルムチからバスでタクラマカン砂漠一周をするという貴重な体験旅行をしました。

初めの予定では天山山脈の南側即天山南路西域を往復するというものでしたが、この地方に7月百年振りの大雨が降り道路が寸断されて通行不能となり、やむをえずタクラマカン砂漠横断道路を行くことに変更されました。幸いにもこの横断道路は1995年に出来たばかりの高速道路でしたので平均時速90Kmで14時間走りました。この道ではじめて極めて小さい砂からできている美しい砂漠に出会いました。私達がイメージしている砂漠らしい砂漠はここだけでした。他の地方は砂漠と云っても岩や石が多く、草のような小さな植物が生えていたり、時には灌木が生えていたり様々です。

ウルムチ ウルムチ クルラ クチャ ニヤ ホータン カシュガル タシュクルガン クンジュラフ峠 タシュクルガン カシュガル アクス クチャ コルラ トルファン ウルムチ。

砂漠の道は直線が多く地平線迄で続いています。100Kmに一つ位オアシスの町があり、オアシスに入ると突然ボプラに似た横枝が少なくて真直ぐに空へ向かって伸びている白楊樹の並木に入れます。レンガ造りの屋根の無い建物が並びテーブルと椅子を出した食堂や、旅館があります。私達はバスを留めて昼食を食べます。たいていは肉と野菜の炒め物を茹でたてのウドンにかけて食べます。はじめの頃はこのウドンがなかなかの美味しいで皆喜んで食べてたのですが、毎日続くので飽きました。

ハミ瓜、西瓜、ブドウ等も売っているので、一度に10個程西瓜を買って砂漠の真中のトイレ休憩の時に食べて、乾いた喉を潤しました。西瓜の値段は一個につき1元（1元は14円）。なにしろ36℃～40℃の暑さでしたからバスの冷房装置も効きめなく、その上乾燥しているので時々食べる西瓜はとても美味しいのです。

大体一日400Kmから500Kmの行程でしたので、移動の日は一日10時間程バスに揺られました。しかし一木一草もない山の連なりは、地球誕生の時の地面の褶曲（しゅうきょく 平な地層が地殻の変動により横からの強い圧力で波形に曲りくねって出来た山や谷）を想像させる。岩の形は変化があり退屈することはありません。この様なバスの旅でしたが、その他の事は次に箇条書きに致します。

1、カシュガルからタシュクルガン、更にクンジュラフ峠への道は7千m級の山の連なりで氷河が輝き大変美しい風景。

2、クンジュラフ峠は中国とパキスタンの国境になっており約5千mの標高で、人によっては酸素が必要。枕のような形の入れ物に詰めてあり、一個150元。

3、カシュガルからタシュクルガンへ向かう途中にカラクリ湖があり、湖畔から7,546mのムズターク・アタ山、7,719mのコングール山がすぐ近くに見える。私達が行った時、丁度日本の登山隊がベースキャンプを置いて登っている所が見えた。

また、ここではたった一人で旅をしている日本人青年に遇う。ヒッチハイクでチベットに行く由。中国式ヒッチハイクの仕方は100元札を手に持って振ると車が止まってくれるとか。

4、ウルムチの博物館には楼蘭の美女のミイラをはじめ、三千年前のミイラが衣服を着、靴を履いた姿のまま顔の表情までわかるように安置されている。顔に入墨している人や髪の毛のかなり量の多い人等種々である。

5、トルファンでは、観光地が多く、交河古城、アスター古墓、高昌古城、ベゼクリクチム洞窟等。

6、最後に西安に4泊し、主な観光地の他に半坡遺跡、阿房宮跡などにも行き、特に始皇帝の兵馬傭は特に圧巻でした。

7、西安郊外は果物畑が多く、リンゴ、ザクロ、梨等。今ザクロの収穫期で大ぶりのザクロ一個が1元で道端で売っている。

8、西安の街中を歩くと表通りは百貨店、裏通りの隙間のような所に2元ショップ、丁度日本の百円ショップのようにしてある。

9、タシュクルガンからカシュガルに下る途中に、氷河で削られたようなカール状の地形で底が湿原の様になっ

た所があり、ガイドがここには茸があると云うので、私達はバスを止めて5m以上はある斜面を下りて行ったところ、たちまち白くて石のように見える茸が、かなりの量見付け思ひがけない茸狩りになりました。この茸をカラクリ湖のレストランに持ち込み、早速調理してもらって食べました。歯ざわりが良く大変美味しい茸でした。この茸は砂地から生えているとしか思えない不思議な茸でした。

10、タシュクルガンからクンシュラフ峠に登る道は、1957年に車が通れる道になりました。その前はロバや馬と共に通る道で玄奘三蔵法師がインドに行くときもこの道を通ったそうで、当時のキャラバンサウイが残っていました。石造の小さい建物でした。又この辺りは岩や石のかげにマーモット（リスの一種）が可愛い姿を見せ、すばしっこく動きまわっていました。

今回の旅を体験して感じた事

シルクロードの旅はフィリピンと比較する訳にはいきませんが、私としては地球の大きさや創世記の地球、古代文化等を見た感じで、大変見聞を広める事が出来たと思っています。

「南の会」の目的である移住や長期滞在をする為の勉強という点から考えた場合、中国はフィリピンに比べ次の様な問題があります。例えば衛生面（特にトイレ）、治安、食べ物、環境、インフラ等々問題が多すぎます。北京や、上海などは大都会でマニラ界隈と遜色ないですが、私共が住むとなると抵抗を感じます。

尚 私事ですが、すでに何回も渡比体験をし、リタイヤビザも昨年取得して、いつでもフィリピンに行ける体制は出来ているのですが、今一つ決心がつかず模索中です。

目標を持って旅をする事は、従来の漫然とした旅とは違い充実した気分で旅をする事が出来ます。

～では又～



南太平洋レポート

平成11年9月

会員No.47 東京都在住 三井田 雅俊

8月上旬、ビジネスの友人とグアムで一週間ほど過ごしました。

主な旅行の目的は、ミクロネシア大統領にお会いし、ミクロネシアでの漁業権の取得を交渉することありました。

たまたま国連総会に出席の為、大統領夫妻がグアムのヒルトンホテルで一泊される機会にお会いする事が出来ました。

南の国ミクロネシアは中小の島々2,200よりなっており、その一つのトラック環礁には、40～50隻の日本の軍艦、商船が沈んでいるそうです。

この連邦國の大酋長である大統領は60才代半ばの白髪で大変英語が達者なモダーンな紳士であり、奥様は曙闕（相撲）の妹の様な立派な体格で150kgはあるでしょう。この方もまた流暢なアメリカ英語を話され御夫妻とも一流の社交家でした。大酋長の予想からニューヨーク社交界の一流人物のイメージに一変しました。

このミクロネシア交渉のお膳立てをして頂いた人はD.r. Chen（陳 美全博士）中国福建省出身でカルフォルニア大学の博士号をとり、現在アメリカの市民権を持ち、30年来グアムに住んでおられる62才の方でアーキテクチャー・エンジニアリング（建築関係）の会社を経営し、南太平洋諸国では大変な影響力のある人で、尚日本、台湾の有識者、会社に大変顔の広い方です。

2002年の太平洋諸国オリンピックをミクロネシアの首都ポナペ開催の為に近く北京に働きかけに行くんだと言っておられました。

この方に「南の会」の趣旨をお話し、その為の高齢者住宅に適した所は？と話しましたところ、D.r. Chen曰く、『安全、一流の医療、介護サービス、飲料水、同年齢層の集り、日本からの距離が短い事』とた

ちどころに、これらの要点を御指摘になり、南太平洋につき次の様な説明がありました。

パラオ、マーシャル諸島、ミクロネシア諸島は、若いものの遊びの地で、医療設備は貧弱でまた日本から余りにも遠すぎる。

グアムは良い場所であるが、U S ビザの問題があり先ず永住は不可能。

サイパンはグアムと同じ様に近代化されており、日本人の永住ビザは現在サイパンにその人の働いている会社がある場合にはビザ取得は全く問題がない。

高齢者の移住についての例が今までない、でも十分政府と交渉の余地がある。この辺りが近代化され過ぎた？日本の官僚制度と違う処で、行政と相互利益に基いて交渉すれば可能性があると、Dr. Chenの人脈を通じて政府とネゴ（折衝）するとの事です。これもこの諸島がアメリカの法的規制から外れ独自の判断で動いているからでしょう。

「南の会」の皆様には、ここでサイパンの高齢者用マンションプランの素描を紹介し、今後皆様方の御共鳴を得られれば、さらに踏み込んだ調査を行い、交渉を重ね、実現可能なプランを紹介させて頂きたいものと考えております。

サイパンはアメリカ自治領北マリアナ諸島連邦の中心であります。住民はアメリカの市民権は持つが、選挙投票権はなく、アメリカの税金は支払いは求められていない。

アメリカの法律の保護のもとで高い生活水準を維持している。これはほぼハワイ並みといつても決して言い過ぎではないと思います。がしかし、アメリカの移民に関する法律は（出入国管理）労働法などの制約外にあり、“one country – two systems” の国です。

人口はサイパンで18,000人、年間のサイパン島への旅行者は約700,000人、ホテル・ルーム数は4,000で1人平均4日滞在するそうですから、旅行者の延べ人数は3百万人（8,200人／日）近くで、人口の150倍になります。その60%は日本人の25～30才の若者です。

最高5%の課税で、ビール1缶50セント（55円）1流の品物が安価で手に入りますから、シーズンを問わず、3百万人近くの旅行者がワンサワンサと3時間半の近いミナミの島に押し寄せて来る訳です。

グアムで驚いたことがあります。それは少し郊外にあるショッピングセンター近くに中国料理を食べに行った時です。こんな美味しい中国料理は東京では全くお目にかかったことがなく、広東の味でした。

サイパンとグアムは全く同じ食文化だそうですから、サイパンは間違いなく西欧料理、日本料理、中国料理は一流だと思います。もっとも値段もそれなりで東京の80～90%です。

サイパンの紹介はこの辺にしまして、本論の高齢者住宅プランをに入ります。

Dr. Chenのプロポーズは、

場所は飛行場から2.5km、車で僅か数分の距離で、遙かテニアン島の望める島の西側の海岸に近く、ゴルフ場の隣接地です。

マンション型式ご希望者と相談の上、新しく計画し建設にかかるそうです。全部で3階建ての75部屋の場合、

1ベッドルーム（16坪）	9.0百万円
2ベッドルーム（22.5坪）	12.5百万円

これらの分譲価格は共用使用部分も含んでいます。

各部屋リビング、ダイニング・ルーム、バスルーム、キッチン、家具付、全館エアコン、皆で使用出来るコモン・ユースの部屋とキッチンある他、管理人（1人）、ナース（2人）、ドライバー（1人）が常駐します。飲料水は、南の国（島）のサンゴ礁地盤による硬水を、軟水にする為の浄化装置があります。

毎月の経費は食費を含み夫婦2人でU.S.\$1,533が予定されています。

以上皆様の御参考までに、南太平洋サイパン島の高齢者向けマンションのプランを、一つの情報として御報告申し上げます。

～では又～

「南の会」平成11年度第1回役員会議事録

「南の会」事務局 酒匂景輝 さこうかげてる

◇H11年7月3日(土) Pm6.00~ *場所; メルパルク・東京 レストラン ☎03-3433-7211

出席者 特別参加者; 木村様(№97、柏市在住)、富永様(№115、法人の監事に就任、野田市在住)、
役員出席者; 青柳、池田、西田、三井田(途中退席)、長谷川(途中出席)、高澤、酒匂

I、報告事項

1、事務局からの報告

(1)会員動向; 139組(7月2日現在) 内訳*継続会員; 102組(137組中、歩留り74%)
*新規会員; 35組(入会希望者を含む)

(2)読売新聞6月14日夕刊関西版のインターネット探訪欄に竹内会長と小松崎さんの記事が掲載され反響大
*問合せ者; 大阪(寺前)の所には50数件、事務局に資料請求が39件、内入会希望者13名

(3)総会出席者数; 69名(有料出席者; 66名、来賓; 2名、取材記者1名含む) [昨年度は58名]、

(4)懇親会出席者数; 44名(有料出席者; 42名、来賓; 2名、内非会員; 2名含む) [昨年度は47名]

(5)総会・懇親会; 会計報告別紙

(6)関西支部発足; 6月20日に発足 出席者; 16名(主に関西地区既会員、今回酒匂も出席)

*支部役員・支部長; 大橋、顧問; 寺前、会計; 林、書記; 藤本、

*7月20日に関西地区で今回入会された方々に説明会を大阪で開催。(竹内会長出席予定)

2、「南の会」法人化について、 経過報告; 池田(法人化準備委員会リーダー)

下記を関西支部発足会の際に事務局より報告

(1)名称; 特定非営利活動法人「南国暮らしの会」

(2)事務所; 東京都豊島区巣鴨1丁目15番2-809号(池田邸)

(3)目的; 読み上げ

(4)申請書提出日; 平成11年6月15日 東京都知事に設立認証申請書提出。

(5)認証予定日; 平成11年10月15日に認証される予定。

※(6)認証後; 「南国暮らしの会」の総会を開き、上記 特定非営利活動法人「南国暮らしの会」に合併の予定。☆経過報告; 池田(法人化準備委員会リーダー)

・事業は南の会の案を基に作成提出。(当分は収益事業は行わないが、案としては提案自由で将来の布石にしたい。)

○三井田氏より提案ある(9月下旬ごろ)

・役員は理事長; 池田、副理事長; 竹内、理事; 三井田、西村、西田、高澤、酒匂、監事; 青柳、富永で今回
は提出。

・予算案も南の会の案を基に作成提出。

・設立認証申請書の副は池田徳三郎が保管、写は南の会事務局酒匂景輝が保管。 etc

II、協議事項

1、総会・懇親会の残金処分について(事務局案; 南の会に寄付)

◎賛成(南の会に寄付)

2、報告事項2-※(6)項について役員会として同意の上、総会に図りたい。(結論は後日にしたい)

3、ワールドステイクラブ(WSC)の件

本会会員№133、藤森様の仲介でワールドステイクラブの相談役(元会長)の安田様と6月26日に面談する。

・「WSC」の概要 事務所; 新宿区若宮町37セレクトビル2F ☎03-3268-2733(貸事務所を安く
借りている)

①会員数; 1,040名(98年末) [首都圏が70%] ②会費; ¥5,000- ③入会金; ¥5,000-

※「WSC」と「南の会」が交流や相互協力(旅行等)出来ないか。

*南の国などの居住地探訪ツアーなどの催しに、WSCの会員を参加させて欲しい。(その過程で希望者は会

員に)

- ・ W S C は旅行の企画者（企画者は準添乗員として参加して貰う）に必要経費の 1 部を補助している。そうしないと企画者の負担が大きくなり希望者が居なくなる。尚ツアーハーの参加者は 15 名程度が纏まりがある。
(体験上)
- ・ 何か事業を検討すると直ぐ金の事で行詰まる。当初 ¥3,000 でスタートしたが直ぐ ¥5,000 にし、入会金を頂く様になり何とか事業などが出来る様になった。

◎賛成 「W S C」と「南の会」が交流や相互協力〔旅行等〕出来ないか。の件につき

4、1999春季会報を増補したい。100~200部（上記の読売新聞記事対応で品切れになった。）

前回の印刷所見積り価格 100 部で ¥42,000-、200 部で ¥45,000-

会の問合せ者用資料を「南国暮らし入門」と「1999春季会報」を法人設立後も使った場合問題（会名称や陳腐化）ないか。

◎過渡期だから、会名称や資料の陳腐化は無いだろう。

◎価格的に 100 部は高くなるが、もう少し安く出来る業者を探し印刷には賛成

- ・ 会員 No.103 の角川氏の協力で 1999 春季会報で単価 @280- 程度で製本して貰える。但し部数（200~500 部程度）が増えても安くはならず、スライドしてアップするため 200 部では ¥56,000- と高くなる。角川氏との打合わせにより、安い所で製本して良いとの事で、今後部数の少ない時は角川氏経由の（株）友文社 TEL; 03-5689-4311 に依頼すると言う事で了承して貰う。

5、東京総会要旨報告発行について（概要別紙）尚会員名簿を本誌に綴じて出すか別冊で添付するか？。

◎会員名簿は別冊とする。賛成

◎東京総会要旨印刷部数は 250 部とする。賛成（会員数が増えそうなので、追加印刷をしないようにしたい。）

◎東京総会要旨発行時期は 7 月下旬目標。（会員名簿、新聞・雑誌掲載関係情報添付）

III、会員からの提案及び情報提供

1、資料提供、入会の案内担当者を募集。（前回も提案）

提案者；西田

2、セブ島のゴルフ場会員権紹介について

提案者；長谷川

☆長谷川幹事より概要説明、

- ・ セブ・インターナショナルゴルフアンドリゾートクラブ
- ・ 募集金額； ¥450,000-（全額入会金）
- ・ 特典； メンバー各位に優待券を年間 20 枚（ホテル宿泊券とゴルフプレー券）1 枚で 4 名迄利用出来る。
- ・ 優待料金； ホテル宿泊料金 ¥3,000-（1 名）。ゴルフ 1 R プレー料金 ¥4,500-

3、会員名簿について、もう少し各人の得意な事や趣味など記載して欲しい。会員が多くなると事務局での対応も大変だろうし、会員も会員同志の横の連絡を取り合い情報交換をしたい。 提案者；会員 No.133、藤森様

◎原則的には賛成であるが、公開したくない人も居るので、再度登録して貰うようにしたい。

秋季会報時にしたい秋季会報には上記 2-(6) 項の法人認証後、「南国暮らし夢の会」の総会を開催する。
その際の総会会員出欠、などを発送する。

◆本件は事情があり来年度会員更新時に延期する。

以上



「南の会」平成 11 年度第 2 回役員会議事録

「南の会」事務局 さこうかげてる 酒匂景輝

◇H11 年 9 月 11 日（土）PM5.30~ * 場所； メルパルク・東京 レストラン ☎ 03-3433-7211

出席者 特別参加者； 宮崎様（No.163 品川区在住）、

役員出席者； 青柳、池田、西田、西村、高沢、酒匂

◇ 報告事項、

1、事務局からの報告

(1)会員動向

①会員数；157組（9月9日現在） 内訳*継続会員；103組（137組中、歩留り75%）
*新規会員；54組（入会希望者を含む）

②会員で外国に住居手配及び居住中の方

- ・森川氏（№50）ダバオに賃貸住宅を借り日本語教師（ボランティア）としてH11年2月から在住。
現在奈良に帰国中で日本滞在は9月18日頃まで。
- ・田口氏（№130）ダバオに賃貸住宅を借り日本語教師（ボランティア）としてH11年7月から在住。
- ・前沢氏（№44）マニラのローズプリンセスホームに戸建のホームを契約H12年2月頃から移住予定。
加藤泰三さんと隣を希望しOKとなる。
- ・加藤泰三氏（№98）マニラのローズプリンセスホームに戸建のホームを契約H12年2月頃から移住予定。
(L.Sで日本と行き来しながら当分は住む)
- ・木村氏（№18）マレーシア・ペナン島のコンドミニアム（5Fに60坪で3ベッドルーム）購入。
¥1,200万で購入し内装に¥500万、家具、什器、車等で¥300万合計¥2,000万程度。
今年の9月中に内装完成予定。12月末から1月中旬頃までマレーシアに滞在予定。会員の方で体験滞在したい人が居たら滞在OK。
なお向かい側にホテルもあり、気兼ねする人はそこに宿泊しても安く滞在出来る。（朝食つきで¥3,000前後）

(2)フィリピン竹内邸電話番号変更（直）001-63-46-524-0049（マニラでは 046-524-0049）

携帯001-63-918-868-1188

(3)週刊朝日から取材希望あり

- ・取材者；佐田（女性）様 ☎03-5706-5903
 - ・雑誌名；另冊年金（週刊朝日）定年後の暮らし方について等、特集版で11月に発行予定
 - ・期日・場所；H11.9.13（月）Pm2H、帝国ホテル1Fロビーにて取材を受ける。
 - ・取材内容；会の概要、どの様なメンバー？、会の運営、滞在体験者の話（電話で後日取材可）、会報や現地写真等々。
- *取材に池田、酒匂が出席。他に出席出来る方は是非出て下さい。（他に希望者無し）
*森川忠士氏に電話取材の予定。

(4)支部活動

- ①関西支部；7月20日に関西地区で今回入会された方々に説明会を大阪で開催。（竹内会長、フィリピン大使館月村氏出席）50名程度集った。
- ②甲信越支部；発足会開催（諫訪湖畔エプソン厚生会館）支部長；鎌野氏。今回は9名出席（酒匂を含み）上記木村氏の情報は木村夫妻も出席され公開された。
- ③九州支部；11月中旬にダバオ、セブ、ペルトアズールの探訪ツアーを計画、広島の布施氏、名古屋の足立さん、またその話を聞いた福岡の人々が3名入会され、今回のツアーに参加されるとの事。
参加者13名の予定。

(5)会報（1999春季号）増版の件、会員の№103角川氏が出版関係の仕事をされているので、数の少ない場合は手伝ってくれる事になり、100部（約@¥290-）増版する。（部数が多いとこの値段では高い。）

(6)1999春季総会要旨報告250部（約@¥180-）印刷。150部既会員向、100部は問合せ、新規入会者向。

- ・新聞、雑誌関係記事集100部（約@¥70-）コピー。
- ・会員名簿150部（約@¥55-）コピー。
- ・同上送料150部（@¥160-）

◆今回の1999春季総会要旨報告の費用は一人当たり約465円で合計約7万円。

(7)ワールドステイクラブの件

- ・8月18日にWSCメンバー相談役（元会長）安田様、副会長加藤様、事務局長岡安様（女性）、南の会メンバー次期理事長池田氏、事務局酒匂が出席、以上5名で品川駅中央西口前のソニービル1Fロビーで面談。
- ・WSCは年間15回程度外国にグループでのロングステイ企画している。が、主に欧米が人気が有り偏っている。この現状から「南の国」の企画も必要と思うが、フィリピンなどの情報を持たないので当分無理である。この方面の企画を南の会に便乗させてもらい、欧米関係の企画はWSCにと言う訳に出来ないだろうか。お互い友好団体として支援出来ないか。お互いに法人会員として登録するか検討課題。
- ・マレーシア方面の企画についても是非WSC会員に「南の会」の企画を紹介させてほしい。

2、高沢幹事より報告

- (1)マレーシアその他のツアーアの企画について
- (2)「南の会」のホームページについて

◇協議事項、

1、秋季総会開催について

- (1)開催目的；協議事項第6項の件 賛成
- (2)日 時；平成11年11月6日（土）~~Pm1時から2時40分まで~~（竹内会長帰国中と10月15日に認証される予定を加味し11月6日を選ぶ。）Pm3時30分から5時まで 賛成
- (3)場 所；東京都産業貿易センター（春季総会開催場所、会場予約済み） 賛成
- (4)総会資料；法人化の定款を出すか？（縮小版で出す。） 賛成

2、例会開催について

- (1)講 演；2時間程度
- (2)講 師；5名程度 春季総会時は9名と多すぎた様だ。
 - ①会員からの体験談等；講師；3名 人選は事務局一任
 - ②外部の講師を依頼（例）=外貨預金について、フィリピンの特徴について。大使館の横山氏等
 - ③会長の体験談

賛成
賛成
賛成
賛成

3、懇親会開催について

- (1)懇親会；メルパルク（春季懇親会開催のレストラン）かメルパルクの宴会場（有料）または昨年開催場所のベルシーヌ竹芝（銀座アスター・パーティールーム）のいずれかで検討。
○メルパルクの宴会場で検討したが全て予約済で、レストランにする。

- (2)日 時；平成11年11月6日（土）~~Pm6時~~ Pm5時45分からPm8時迄

4、秋季会報発行について

*今回は女性の記事を多く（6名）してメリハリを付けたい。（依頼済み）

- ・男性；4名
- ・役員会議事録、
- ・会員名簿追加
- ・竹内会長挨拶
- ・フィリピン情報（航空運賃、ホテル事情？、ダバオの人脈？）

5、フィリピン・ダバオ地区の支部長に森川氏を推薦したい。（本人、竹内会長了承）

6、特定非営利活動法人認証後の会の運営について、池田次期理事長より提案、審議をお願いします。 賛成

*「南国暮らし夢の会」の総会を開き、上記 特定非営利活動法人「南国暮らしの会」に合併の予定。

- (1)上記の事項を役員会として同意の上、総会に図りたい。

賛成

- (2)役員の「南国暮らし夢の会」から法人「南国暮らしの会」へ引継ぎについてその時期等？。

総会で提案し引継ぐ
人選は事務局酒匂に一任
身分は来年度役員変更時に検討

- (3)法人「南国暮らしの会」役員の業務分担、その他について
- (4)各支部の位置付けと、支部長の身分について

◇ 役員・会員からの提案及び情報提供

1、竹内会長提案の件

(1) 不動産情報の提供、マニラ界隈やプエルトアズール等の不動産情報を希望者に提供する。物件の提供責任者は安藤 博氏を予定している。(竹内会長が1年位前から付合い、信頼出来る人物であるとの事。
フィリピンに住み30年位の方)

(2) マニラ界隈やプエルトアズール体験ツアーの件

- 1組8名10間(7割程度を竹内宅に宿泊) 1名10万円程度を目標にしているが航空運賃の関係で具体的案は後日。
- 体験ツアーを毎月セットしてフィリピンに送り出してもらい、プエルトアズール、マニラ界隈(ローズプリンセス、パラダイスビレッジ、他)の送迎、観光、不動産物件見学及び体験滞在等。
- 旅行社はデスカバリーツアー(株) ☎ 03-5468-0903、港区西麻布4-17-30、担当; 藤田さんを予定している。

2、クラーク特別経済区のアメリカ空軍将校住宅をリフォームしてリース(50年契約)で暮らしませんか。

- 会員No.185田野瀬氏、No.186大石田氏から別紙ビルを「南の会」会員に配付したいが如何でしょうかとの相談があった。
- 本件は過日(II11/6?)エストラーダ大統領が来日の際リース(50年契約)が成立した。
(フィリピン大使館の横山氏の情報だと田野瀬氏の身内の方が代議士との事)
- 本件についてはロングステイ(財)季刊誌購読者には既に配付済みである。

*竹内会長は大阪のセミナー(7/20)で面識あり、そのセミナーで本物件の説明済みである。不明な点が多いので9月中旬に見学に出向く予定、パンフレット配付については役員会に一任するとの意向。

◎賛成、本会は勉強会、情報収集、情報公開、法人申請でも収益事業は当分しない事にしている為、上記の案内パンフレットやビルは当事者から発送して貰う。

本会はあくまでも勉強会、情報交換、親睦の会に徹する。

3、情報公開と自己責任について

上記の如く本会は1応役員会にはかるが、勉強会、情報交換に徹し出来るだけ情報公開をする。

近ごろ数名の方が、南の国にロングステイ及び移住又は移住の準備をされています。その方々は自分で歩き、見て体験されて決定されています。皆様も良識ある選択をして下さい。

*竹内会長のアドバイスも忘れずに

但し本会としてはどの様な物件でも一切保障・責任は負えません。

選択決定は自己責任で を徹底して会員に伝達する。

※参考 フィリピン・ダバオ市在住者連絡先(ダバオ市にて日本語ボランティア活躍中)

50 c	森川 忠士 61才 II11.2より長期滞在	ダバオ日系人会、フィリピン日系人会教育センター日本語教師 (昼) ☎ 001-63-82-234-2698/97 (夜) ☎ 001-63-82-234-1334 MAMAY ROAD, LANANG, DABAO CITY, PHILPPINES.
130 C	田口 幸秋 57才 II11.7より長期滞在	ダバオ日系人会、フィリピン日系人会教育センター日本語教師 (昼) ☎ 001-63-82-234-2698/97 (夜) T/F; 001-63-82-300-0238 MAMAY ROAD, LANANG, DABAO CITY, PHILPPINES.

以上

フィリピン関係航空券情報

平成11年9月9日

「南の会」 事務局 酒匂 景輝

略号 (社名)	予約・案内C 電話番号	成田～マニラ 有効期限	格安旅行社	価格(往復) 11/9中旬以降	備考
JL (日本航空)	0120-25-5931 03-5460-0511	1ヶ年 ・オープン 2～30日・FIX	・マップツア- 03-5352-0120	----- ¥59,000-Am	毎日、 午前・午後
PR (フィリピン航空)	03-3593-2421	1ヶ年 ・オープン 1ヶ月 ・FIX 2週間 ・FIX	・H I S 03-5360-4871 同上	¥56,000-Pm ----- ¥52,000-	毎日、 午前・午後
PK (パキスタン航空)	03-3216-6511	1ヶ年のみ・オープン 旅行社で期間は決定	同上	----- ¥42,000-	火、土 午後
MS (エガト航空)	03-3211-4521	1ヶ年 ・オープン 1ヶ月 ・FIX	同上	¥45,000-	水、土 午後
NW (ノースウェスト航空)	03-3533-6000	1ヶ年 ・オープン 6ヶ月 ・オープン 1ヶ月 ・FIX 21日 ・FIX	----- ・上記では 取扱って いない	正規価格で高い。 格安旅行社 で取扱って いる	毎日、夜

摘要 ; マップツア-とH I Sの価格差は殆どない。

参考

*1 フィリピン航空の搭乗券を日本で購入 (マニラ・ダバオ間往復) ¥24,000-近頃日本旅行社は値引き殆ど無し。
会員No.101高澤氏調査

*2 セブ・パシフィック航空の搭乗券をマニラ在住者が購入 (マニラ・ダバオ間往復) 約¥11,000-(p3,500-)日本人でも渡りしてから購入すれば同等金額で購入出来る。尚ダバオ等で購入すれば約¥12,000-(p4,000-)前後で購入出来る。但し空港では正規の価格で高い。会員No.12; 大橋氏 会員No.12; 森川氏調査

★国内線 ; マニラ・ダバオ間往復 (セブ・パシフィック航空の搭乗券を日本で旅行社 [フレンドシップ・インタークナルKK・本社はマニラでフィリピンの旅には強い。東京支社03-3585-5621] で購入) ¥16,000-、

国際線 ; 成田～マニラ (フィリピン航空) ¥56,000- (H11.8.26～31) 会員No.20 小竹氏調査

*3 海外ツアー情報誌 (月刊) ; A B ・ R O A D (エイビーロード、頁数 ; 500頁前後) 、@450-
発行 ; (株) リクルート、 東京都中央区銀座7-3-5、 ☎ ; 03-3575-6158

・情報誌にはフィリピンのツアー情報は少しだが、世界中のツアー情報が満載で、旅行社の選定にも役立つ。

*4 フィリピン航空の国際線と国内線のマニラ国際空港での乗換えが便利になった。この8月9日よりマニラ国際空港の第2ターミナルにて乗換えが出来るようになる。(従来はマニラ国内線空港まで移動しなければならなかった。)

他の国内線、例えばセブ・パシフィック航空などは、従来通りマニラ国内線空港まで移動しなければならない。
以上

「南の会」平成11年度秋季会報送付案内

平成11年10月12日

前略 皆様その後健やかにお過ごしの事と存じます。

秋季会報について

平成11年度秋季会報が纏まりましたので送付致します。今回は主に女性の目から見たフィリピンをメインテーマに編集してみました。と言うのは、外国に行くのは初めてとか、団体の添乗員付ツアー以外は無いという方も結構いらっしゃるので、1年に1回位は発行しても良いのではないかと思い、事務局の独断で編集しました。

この様な事は常識と思われる方は、とばし読みして下さい。私は以前から新聞、書籍等一句でも得るところがあれば価値を認めています。ところで今回の会報を編集し、女性の考え方、見方に感じ入っています。

- ・女性の方が1人で旅をしてハプニングに遭遇されて、この様なハプニングに遭遇しても、何処の国でもあるトラブルだと明るく受け止められている記事。恥ずかしいからと今回は匿名希望です。私は全然恥ずかしい記事ではないと思います。皆さんもこの様なハプニングに遭遇される事が、たまにはあると言う事を念頭に置いて下さい。
- ・女性1人でマニラ界隈の居住地探しを敢行されている方の記事。頑張ってベストな所を探し当てて下さい。
- ・湿気の多い日本を離れて体験滞在され、リュウマチにはフィリピンの気候は最適の様で、お嫁さんと楽しい旅を重ねられ、「又この国（フィリピン）に帰って来たい。」と言われています。元気で長生きしたいものです。
- ・最初拒絶反応を起こしていた方が、フィリピンを2度体験され「好きになりそう。」是非好きになって下さい。
- ・リタイヤビザまで取得しているが、今一つ決めかめて諸国漫遊？を重ね、目的を持って楽しみながらベストな居住地探しをされている。日本とフィリピンに拠点を持たれているのですから大いに諸国漫遊して下さい。
- ・ご夫婦で初めてのフィリピン旅行をされ、ルンルン気分で帰国され次の渡航計画をされている方。

以上の様な体験が出来る事は、竹内会長ご夫妻の一方ならぬご厚意のお陰と感謝しております。

又男性の記事も現実にどの様な生き方をすればベストな生き方が出来るか、特にダバオに長期滞在中の方々は夫々に目標を見つけ活躍されています。

寄稿して下さいました方々に心からお礼申し上げます。

尚本編集に当たり、高沢様、吉岡様、西田様、妻と娘のワープロ転記や校正等のご協力有り難う御座いました。

今回の会報を見てフィリピン拒絶派が、少しでも減って下さることを楽しみにしております。今回の編集は本当に楽しく纏める事が出来ました。

尚次号から会報の編集担当を高沢様にお願いしました。高沢様の斬新な頭脳での会報作りを期待しております。皆様のご協力を、これまで以上に宜しくお願い致します。素人編集者にご協力有り難う御座いました。草々

事務局より

1、会員動向について 165組（10月12日現在入会予定者含む）

内訳 *継続会員；103組（137組中歩留り75%） *新規会員及び予定者；62組。

2、支部関係記事は役員会議事録に記載されています。

3、情報公開について 《興味ない情報は直ぐ肩籠にポイしましょう。》

当会は会則目的項に記載の如く、勉強、情報収集、情報公開、会員相互の交流、親睦融和が目的です。

その為には、色々な情報がないと勉強出来ません。役員会でも数ヶ月の月日を掛け議論して出した結論が、出来るだけ多くの情報を公開する事となりました。ついてはその中には、不適切な情報もあるかもしれません。

よって十分検討され自分の目で確かめ、即答は絶対避け考え方抜いてからにして下さい。

会【会では一切保障、責任は負えません。】や他人のせいにしない様、自分で納得の上選択決定して下さい。



事務局 酒匂 景輝

発行者 『南国暮らし夢の会』 事務局 〒344-0004 埼玉県春日部市牛島1356

Tel/Fax 048-752-1766 酒匂 景輝

会員No. 氏名 _____ 補助会員氏名 _____

住所 _____ 電話番号 _____

※該当箇所を○で囲って下さい。

2、総会、例会出席申込

- (1) 会費；￥1,000- (会費は当日会場で徴収します。)
(2) 出欠；・出席；名・欠席 します。
(3) 期日；平成11年11月6日(土)午後1時30分より午後5時00分
(4) 場所；東京都産業貿易会館、地下会議室

3、懇親會出席申込

- (1) 会費 ; ￥4,000— (会費は当日総会会場で徴収します。)
(2) 出席 ; 名・欠席 します。
(3) 期日 ; 平成11年11月6日(土) 午後5時45分～午後8時00分
(4) 場所 ; メルパルク・東京(郵便貯金会館) 1F レストラン

4、例会での情報発表講師募集 (但し不動産物件等のPR講演はご遠慮下さい。)

- | | |
|---|------------|
| (1) テーマ | 所要時間約
分 |
| (1) 講演テーマ及び原稿、資料のある方は事務局宛にお送り下さい。
(2) <u>講演時間；の事務局の希望時間は20分間程度です。</u>
(3) 講師が多い場合は制限する事もあります。その節は悪しからずお許し下さい。 | |

5. 事務局からのお願い

※2.本申込書は**10月25日迄**に事務局宛に投函して下さい。

6、皆様からの声（別紙でも可）

